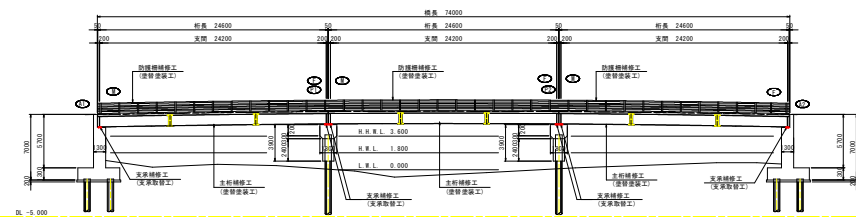
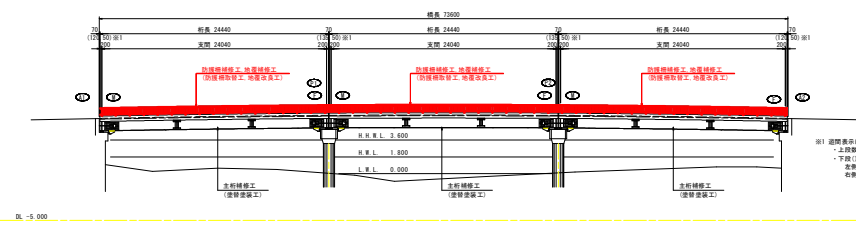


大里橋 補修計画 一般図

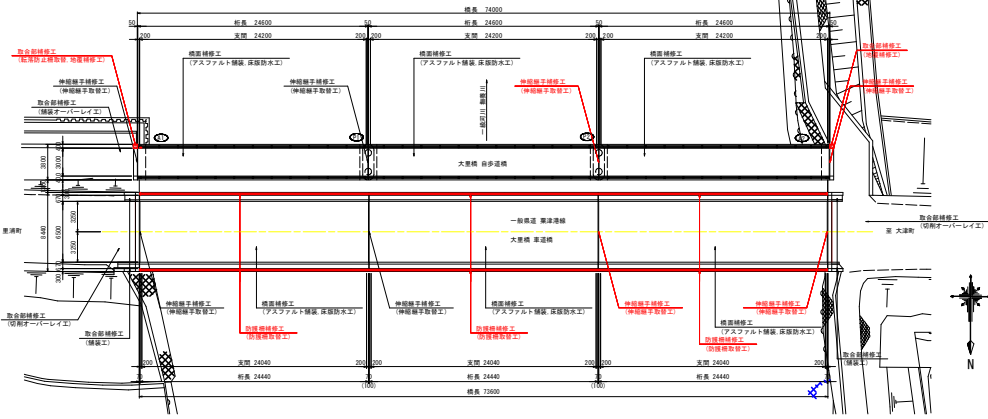
自歩道橋側面図 S11-200



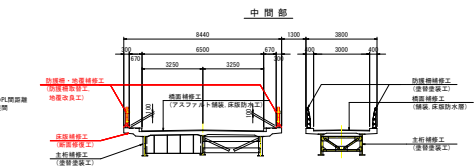
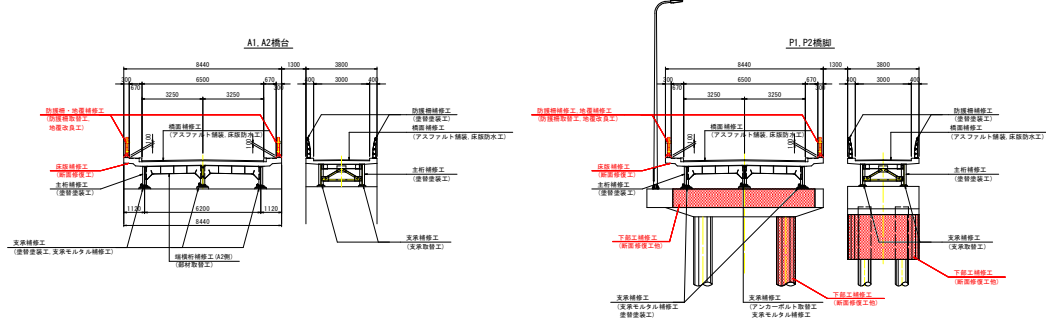
車道橋側面図 S11-220



平面図 S11-200



断面図 S11-100



橋名	橋	橋	橋	橋
線形名	一般国道	一般国道	一般国道	一般国道
構造形式	RC-1連続	RC-1連続	RC-1連続	RC-1連続
構造形式	3跨連続単純橋	3跨連続単純橋	3跨連続単純橋	3跨連続単純橋
設計自動車重量	TL-20 (標準橋)	TL-20 (標準橋)	TL-20 (標準橋)	TL-20 (標準橋)
総長	73,000	74,000	74,000	74,000
橋長	32,024.000	32,024.000	32,024.000	32,024.000
支間長	32,024.000	32,024.000	32,024.000	32,024.000
橋 長	6,500	6,500	6,500	6,500
支間長	20,000	20,000	20,000	20,000
橋角	30°	30°	30°	30°
橋脚	アスファルト橋脚	アスファルト橋脚	アスファルト橋脚	アスファルト橋脚
施工年月	昭和44年12月	昭和47年12月		

補修工法一覧

部位・部材	劣化状況	補修工法	備考
車道橋			
主桁・橋脚軒杭	防食機能の劣化、腐食(鉄鋼減少)	塗膜塗装工 鋼材交換工	Ri-1塗膜 鋼材交換
支保	防食機能の劣化(塗膜剥離) アンカーボルト腐食、主翼モルタル剥離	塗膜塗装工 アンカーボルト取替工、主翼モルタル補修工	Ri-1塗膜 鉄釘補修、亜鉛モルタルによる打替
鋼橋	うみ、割断面(橋脚スベーク)	鋼橋修理工	鋼橋修理工、塗装工
橋脚	橋脚ひびわれ 伸縮継手止水機能なし	アスファルト舗装工、保固防水工 伸縮継手取替工	アスファルト舗装工、保固防水工 ゴム密封継手交換
橋脚・防振橋	高さ不足、防食機能の劣化(腐食)	増高工 鋼橋修理工	鋼橋修理工
橋脚・橋脚	割断面 ひびわれ	鋼橋修理工 ひびわれ注入工	鋼橋修理工、増高工 ひびわれ注入工、塩圧注入工

補修工法一覧

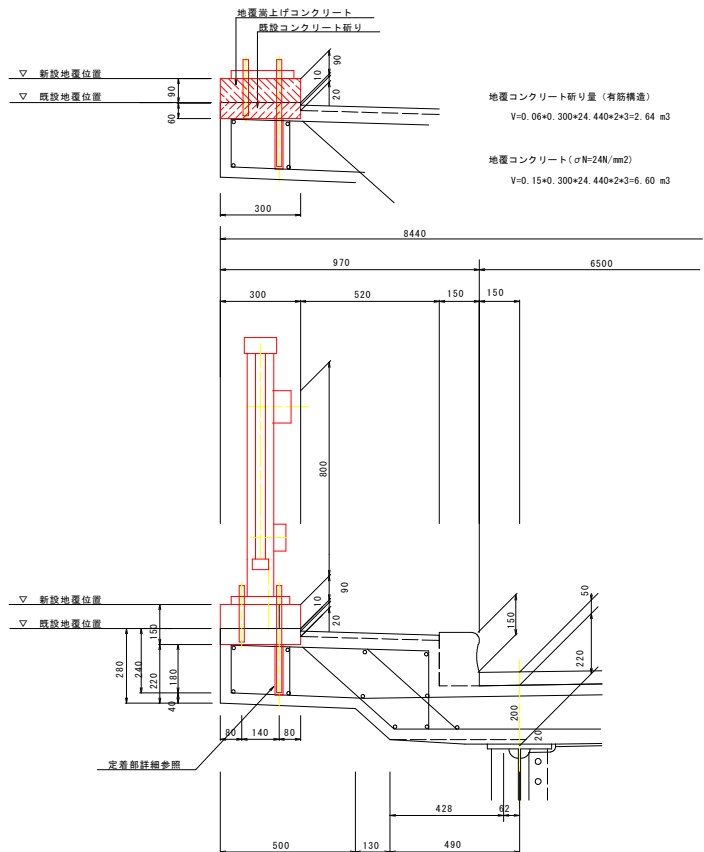
部位・部材	劣化状況	補修工法	備考
歩道橋			
主桁・橋脚軒杭	防食機能の劣化、腐食(鉄鋼減少)	塗膜塗装工 鋼材交換工	Ri-1塗膜 鋼材交換
支保	防食機能の劣化(塗膜剥離) アンカーボルト腐食、主翼モルタル剥離	塗膜塗装工 アンカーボルト取替工、主翼モルタル補修工	Ri-1塗膜 鉄釘補修、亜鉛モルタルによる打替
鋼橋	うみ、割断面(橋脚スベーク)	鋼橋修理工	鋼橋修理工、塗装工
橋脚	橋脚ひびわれ 伸縮継手止水機能なし	アスファルト舗装工、保固防水工 伸縮継手取替工	アスファルト舗装工、保固防水工 ゴム密封継手交換
橋脚・防振橋	高さ不足、防食機能の劣化(腐食)	増高工 鋼橋修理工	鋼橋修理工
橋脚・橋脚	割断面 ひびわれ	鋼橋修理工 ひびわれ注入工	鋼橋修理工、増高工 ひびわれ注入工、塩圧注入工

実施設計図面

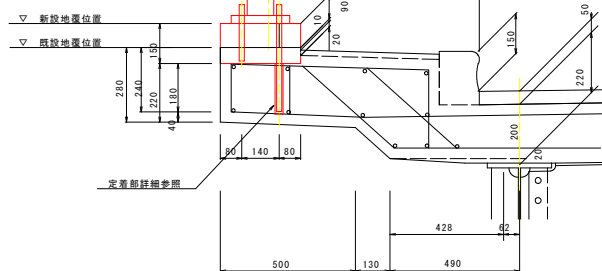
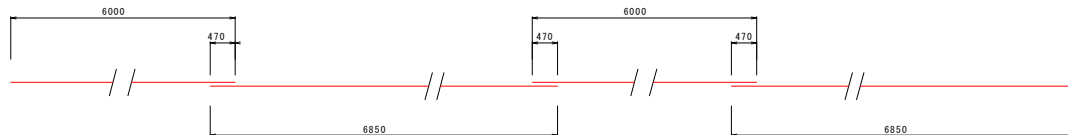
工 事 名	国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省	
建設名	国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省	
工事箇所	国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省	
図 紙 名	国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省	
橋 尺	図 尺	図 尺
図 紙 号	図 紙 号	図 紙 号
製 図 者	国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省	
監 理 者	国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省	
施 工 者	国土交通省 国土交通省 国土交通省 国土交通省	

大里橋車道橋地覆詳細図 S=1:50

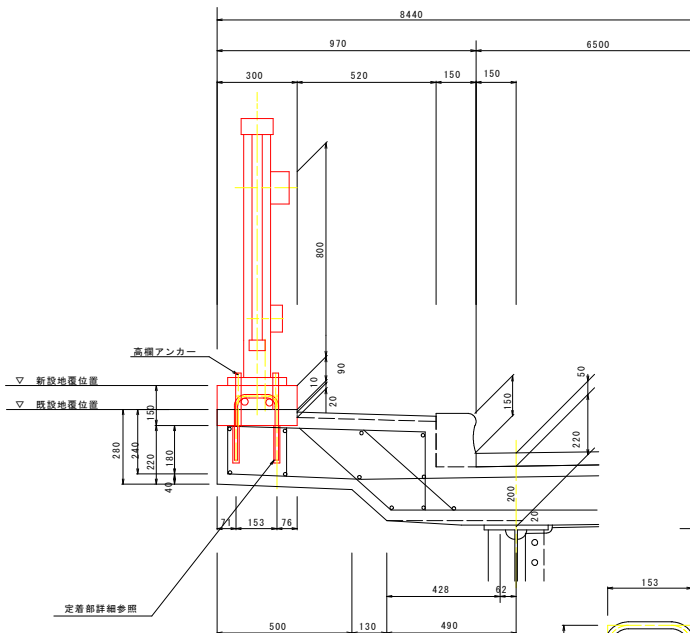
②-1 D13=6000 (SD345) N=2+2+2+3=24本 W = 143.3kg
 ②-2 D13=6850 (SD345) N=2+2+2+3=24本 W = 163.6kg
 W = 306.9kg



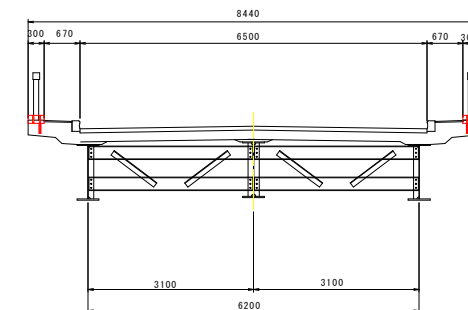
地覆コンクリート新り量 (有筋構造)
 $V=0.06 \times 0.300 \times 24.440 \times 2+3=2.64 \text{ m}^3$
 地覆コンクリート ($\sigma N=24N/mm^2$)
 $V=0.15 \times 0.300 \times 24.440 \times 2+3=6.60 \text{ m}^3$



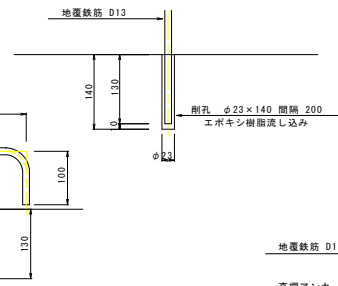
定着部詳細図 S=1:5



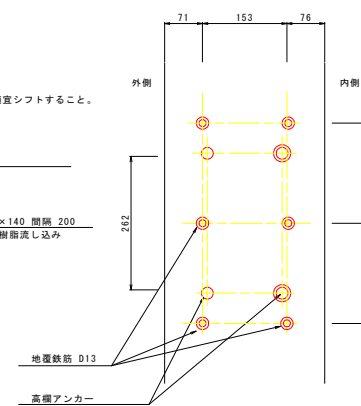
定着部詳細図 S=1:5



既設鉄筋と干渉する場合は適宜シフトすること。

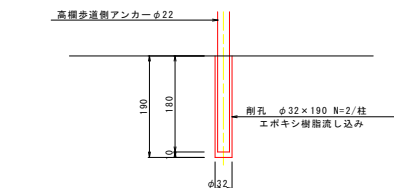


① D13=500 (SD345) N=390*2+2=1560本 W = 776.1kg



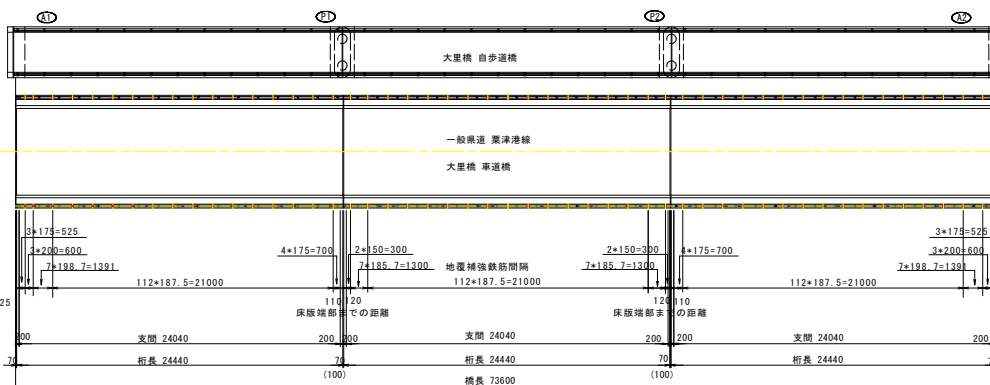
施工手順

1. 地覆コンクリートを新り既設鉄筋位置を確認する。
2. 高欄アンカー位置をマーキングして、削孔を行う。
3. 同様に既設鉄筋に配慮して、地覆鉄筋位置に削孔を行う。
4. 高欄アンカー及び、地覆鉄筋を入れて、エポキシ樹脂を流し込む。
5. 地震型枠を設置し、コンクリートを打設する。
6. 型枠脱型後高欄を建て込む。



エポキシ樹脂数量

・高欄アンカー
 $V=(3.14/4 \times 0.032^2 \times 0.190 - 3.14/4 \times 0.022^2 \times 0.180) \times 2+17 \times 2+3=0.017 \text{ m}^3$
 ・地覆鉄筋部
 $V=(3.14/4 \times 0.023^2 \times 0.140 - 3.14/4 \times 0.013^2 \times 0.130) \times 1560=0.064 \text{ m}^3$
 ・合計
 $V=0.017+0.064=0.081 \text{ m}^3$
 $W=0.081 \times 1200+1.09=105.9 \text{ KG}$



実施設計図面

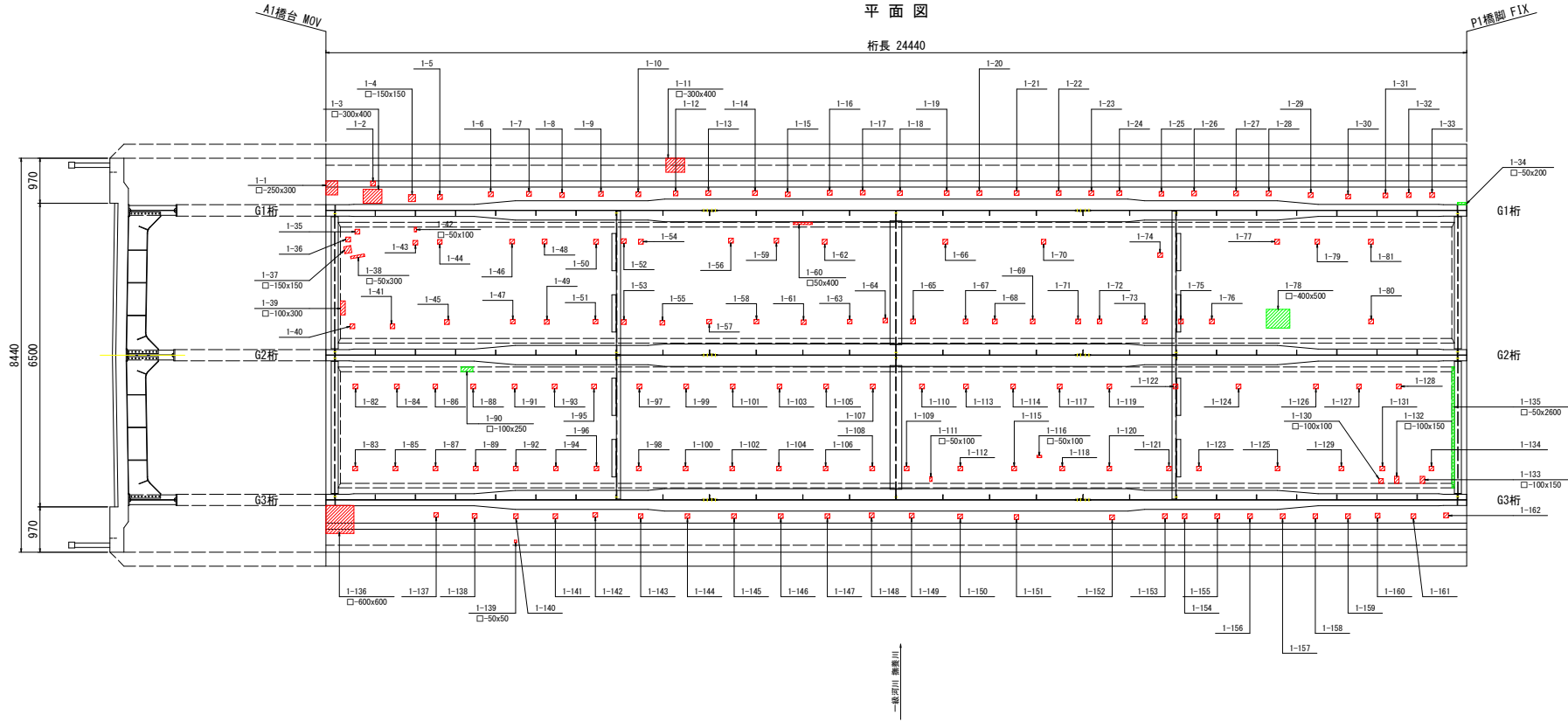
工事名	和徳土 東津港線 鳴・豊浦東津～大津長江橋梁補修工事 (担い手確保型)		
路線名等	東津港線		
工事箇所	鳴門市里浦町東津～大津町長江 (大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 地覆詳細図		
縮尺	図示	図面番号	2 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

大里橋車道橋床版補修工詳細図(1/4) S=1:50

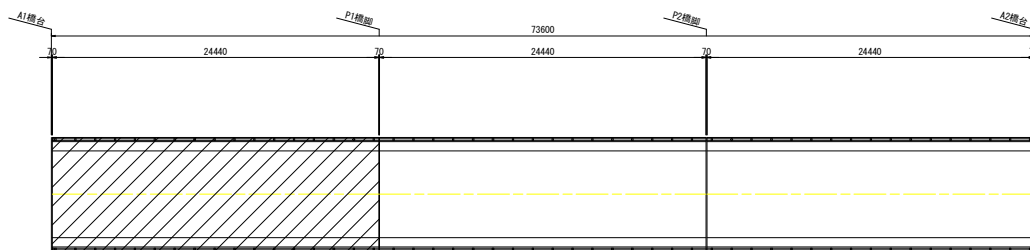
第1径間 床版下面および地覆側面

平面図

桁長 24440



位置図 S=1:200



床版補修工法一覧

補修箇所	補修工法
金属スペーサー 露出箇所および うき等箇所	断面修復工 (スペーサー部は表面スペーサー切断撤去)

劣化分類

損傷の種類	表示
剥離	
鉄筋露出	
その他(うき)	

注記

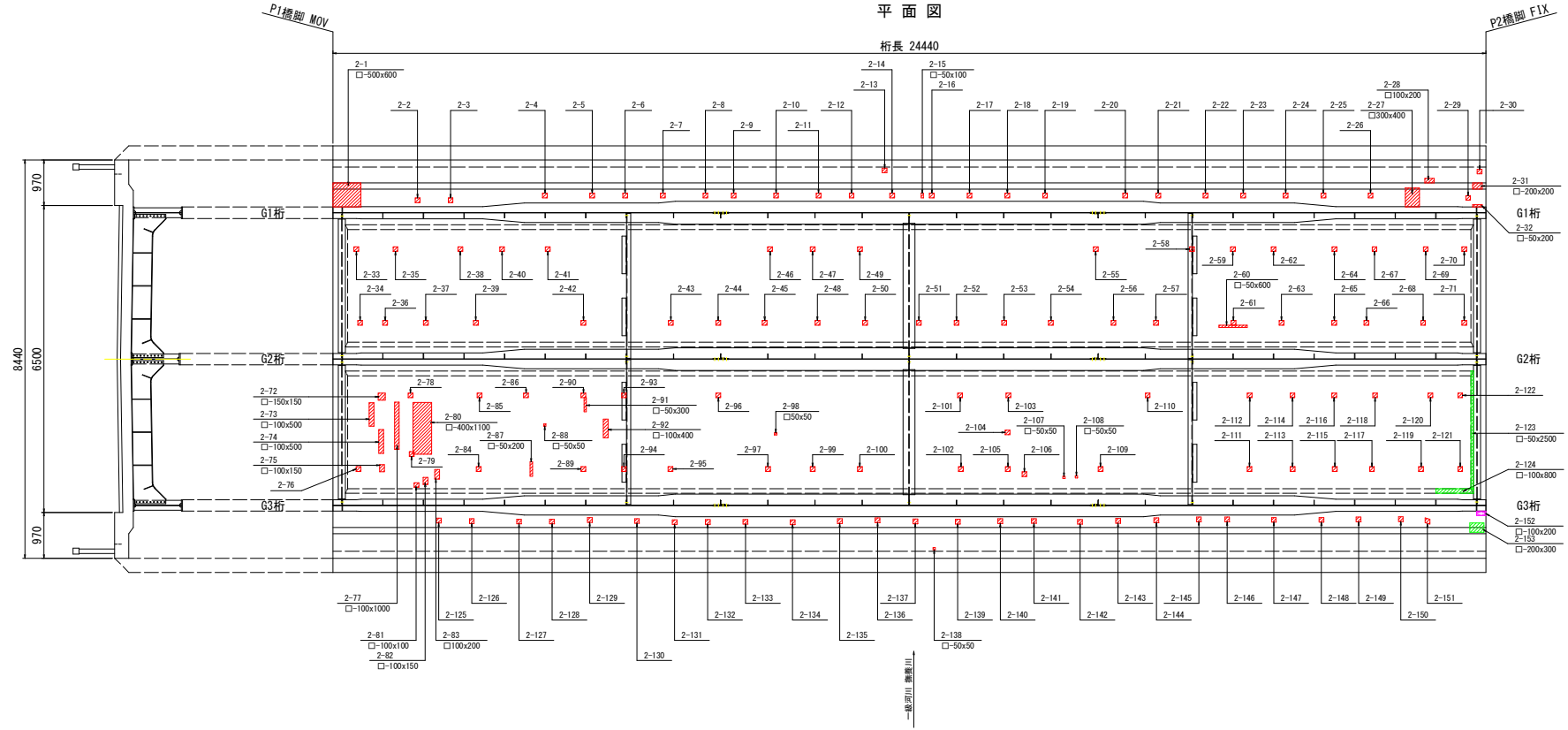
- ・足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ・上記の寸法表示なきは、スペーサーが表面に露出している箇所(口100x100)を示す。断面修復工で復旧するが、表面はつり後には、金属スペーサーを切断撤去し、モルタル復旧する。
- ・ひびわれ注入工法による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。橋梁調査の結果、ひびわれ幅は0.15mm以下であるため、ひびわれ注入を計上していない。
足場工設置時にW=0.2mm以上のひびわれが確認された場合は、監督員と協議を実施し対応を検討すること。

実施設計図面

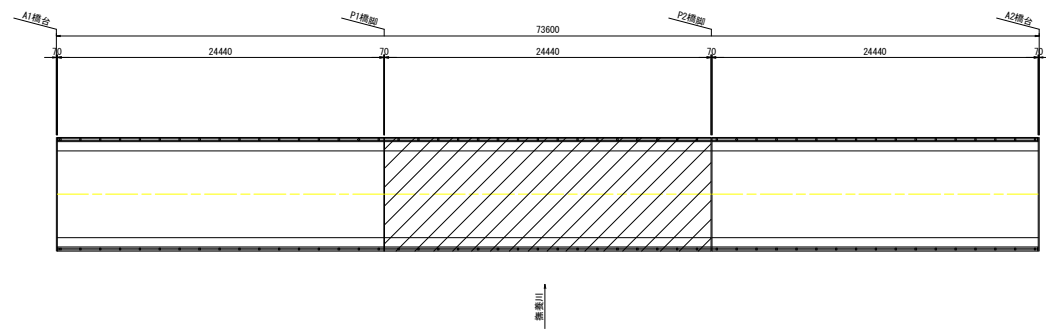
工事名	R3徳土 粟津港線 鳴・星浦東津~大津長江 橋梁補修工事(担い手確保型)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市星浦町東津~大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 床版補修工詳細図(1/4)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

大里橋車道橋床版補修工詳細図(2/4) S=1:50

第2径間 床版下面および地覆側面



位置図 S=1:200



床版補修工法一覧

補修箇所	補修工法
金属スペーサー 露出箇所および うき等箇所	断面修復工 (スペーサー部は表面スペー サー切断撤去)

劣化分類

損傷の種類	表示
剝離	
鉄筋露出	
その他(うき)	

注記

- ・足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ・上記の寸法表示なきは、スペーサーが表面に露出している箇所(口100x100)を示す。断面修復工で復旧するが、表面はつり後には、金属スペーサーを切断撤去し、モルタル復旧する。
- ・ひびわれ注入工法による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。橋梁調査の結果、ひびわれ幅は0.15mm以下であるため、ひびわれ注入を計上していない。
足場工設置時にW=0.2mm以上のひびわれが確認された場合は、監督員と協議を実施し対応を検討すること。

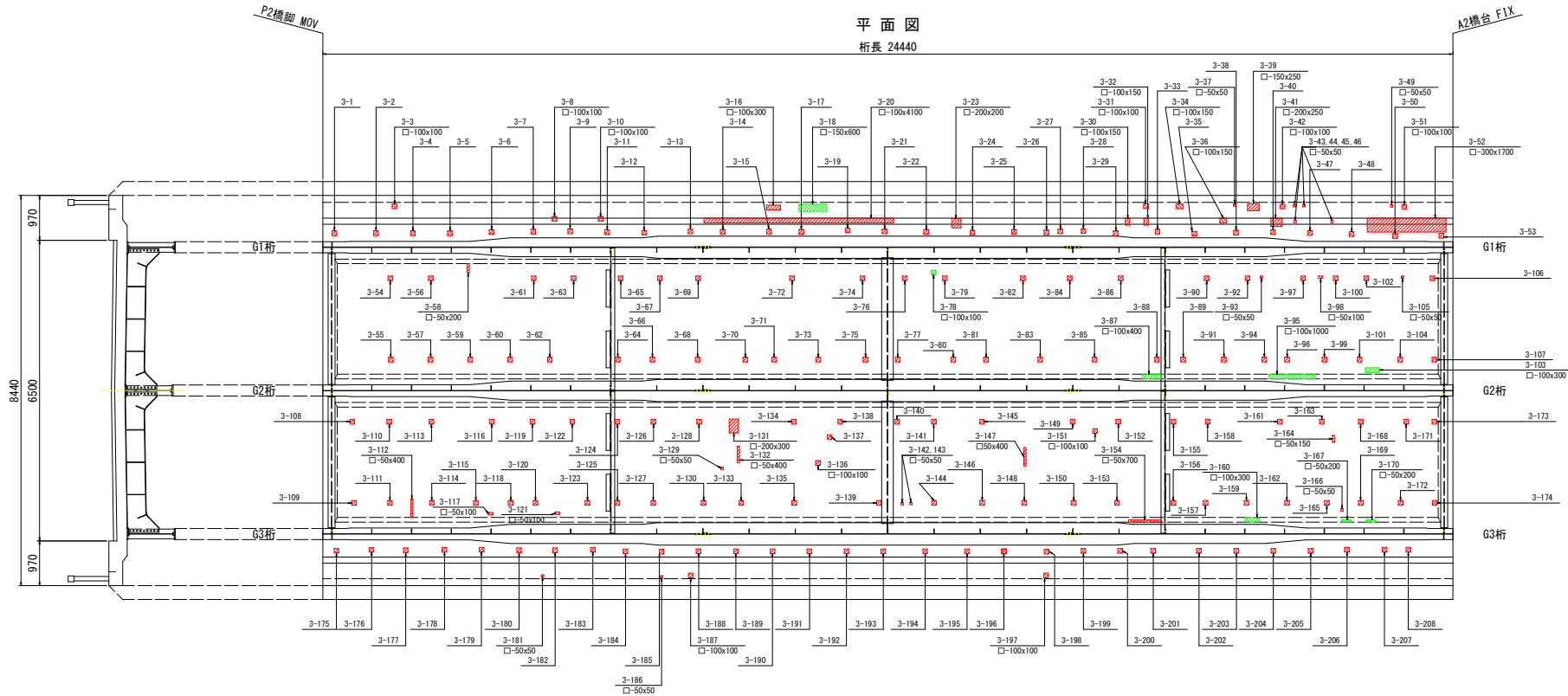
実施設計図面

工事名	R3橋土 粟津港線 鳴・粟津東津~大津長江 橋梁補修工事(掛い手補修型)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市里津町東津~大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 床版補修工詳細図(2/4)	図面番号	4 / 22
縮尺	図示	図面番号	4 / 22
会社名	徳島県東部県土整備局(徳島)		
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

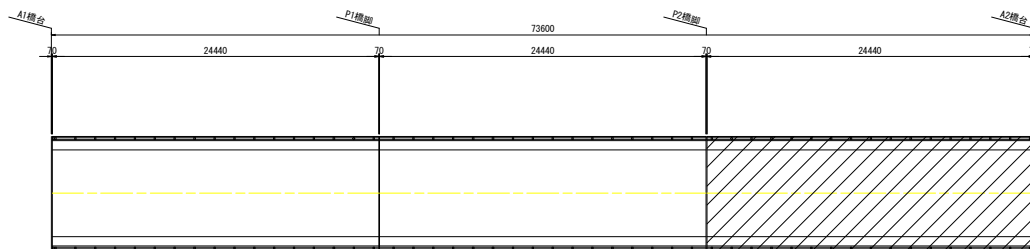
大里橋車道橋床版補修工詳細図(3/4) S=1:50

第3径間 床版下面および地覆側面

平面図
桁長 24440



位置図 S=1:200



床版補修工法一覧

補修箇所	補修工法
金属スペーサー 露出箇所および うき等箇所	断面修復工 (スペーサー部は表面スペーサー切断撤去)

劣化分類

損傷の種類	表示
剥離	
鉄筋露出	
その他(うき)	

注記

- ・足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ・上記の寸法表示なきは、スペーサーが表面に露出している箇所(口100x100)を示す。断面修復工で復旧するが、表面はつり後には、金属スペーサーを切断撤去し、モルタル復旧する。
- ・ひびわれ注入工法による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。橋梁調査の結果、ひびわれ幅は0.15mm以下であるため、ひびわれ注入を計上していない。
足場工設置時にW=0.2mm以上のひびわれが確認された場合は、監督員と協議を実施し対応を検討すること。

実施設計図面

工事名	R2橋土 粟津港線 鳴・粟津東津~大津長江 橋梁補修工事(担い手確保型)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市粟津町東津~大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 床版補修工詳細図(3/4)	図面番号	5 / 22
縮尺	図示	図面番号	5 / 22
会社名	徳島県東部県土整備局(徳島)		
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

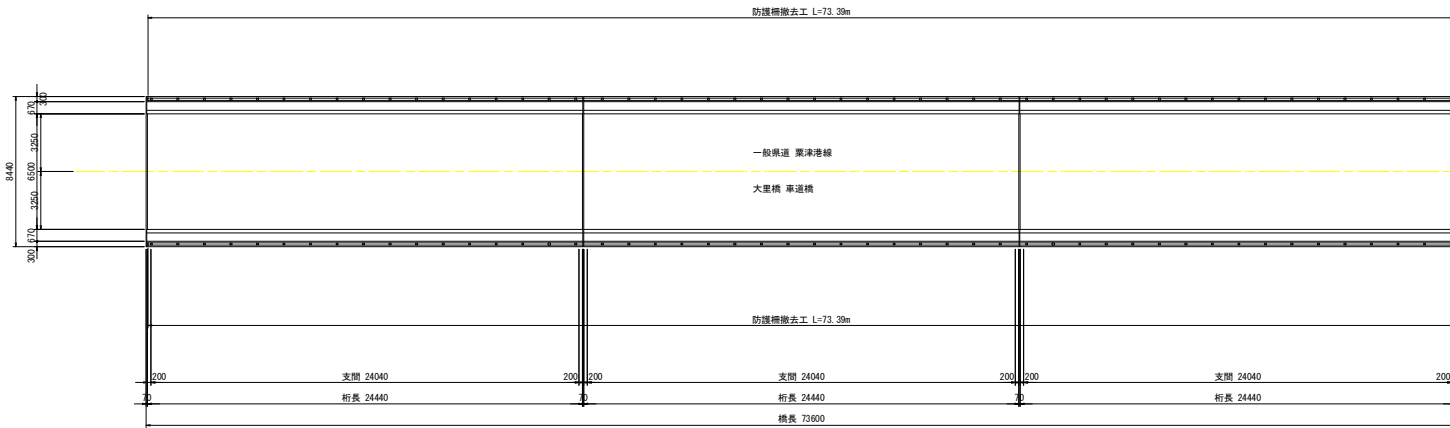
大里橋車道橋防護柵補修工詳細図 S=1:150

防護柵工撤去図

防護柵正面図



平面図



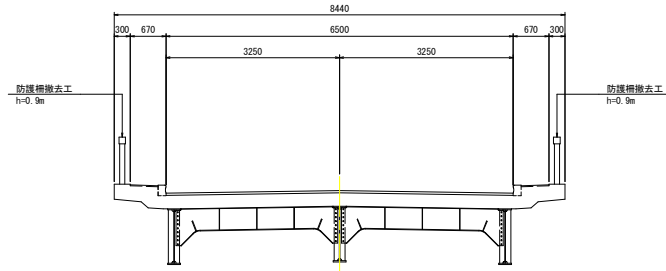
撤去鋼材質量

ブロック名	ブロック数	1ブロック質量 (kg)	合計 (t)
端部	4	9.135	0.037
標準部	98	40.035	3.923
合計			3.96

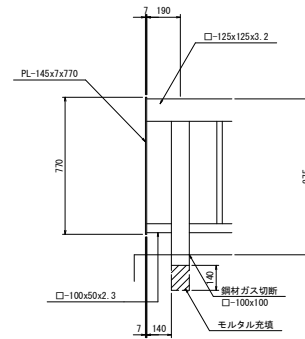
形状	寸法 (mm)	長さ (m)	員数	単位質量	1組質量	質量	部材名
□	125x125x3.2	0.190	1	12.000	2.280	2.280	横桎
□	100x50x2.3	0.140	1	5.140	0.720	0.720	横桎
PL	145x7	0.770	1	7.968	6.135	6.135	端部PL
1ブロック合計						9.135 kg	

形状	寸法 (mm)	長さ (m)	員数	単位質量	1組質量	質量	部材名
□	125x125x3.2	1.490	1	12.000	17.880	17.880	横桎
□	100x50x2.3	1.390	1	5.140	7.145	7.145	横桎
□	100x100x2.3	0.750	1	6.950	5.213	5.213	横桎
□	60x30x1.6	0.575	8	0.575	1.225	9.798	横桎
1ブロック合計						40.035 kg	

断面図 S=1:50



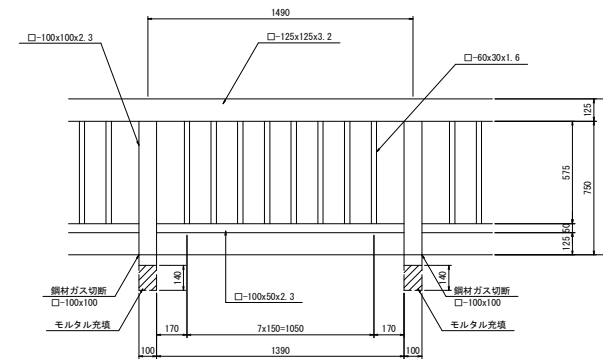
端部



端部撤去数量 (全4箇所)
1箇所当り数量
1-□ 125x125x3.2x190
1-□ 100x50x2.3x140
1-PL 145x7x770

防護柵撤去図 S=1:15

標準部



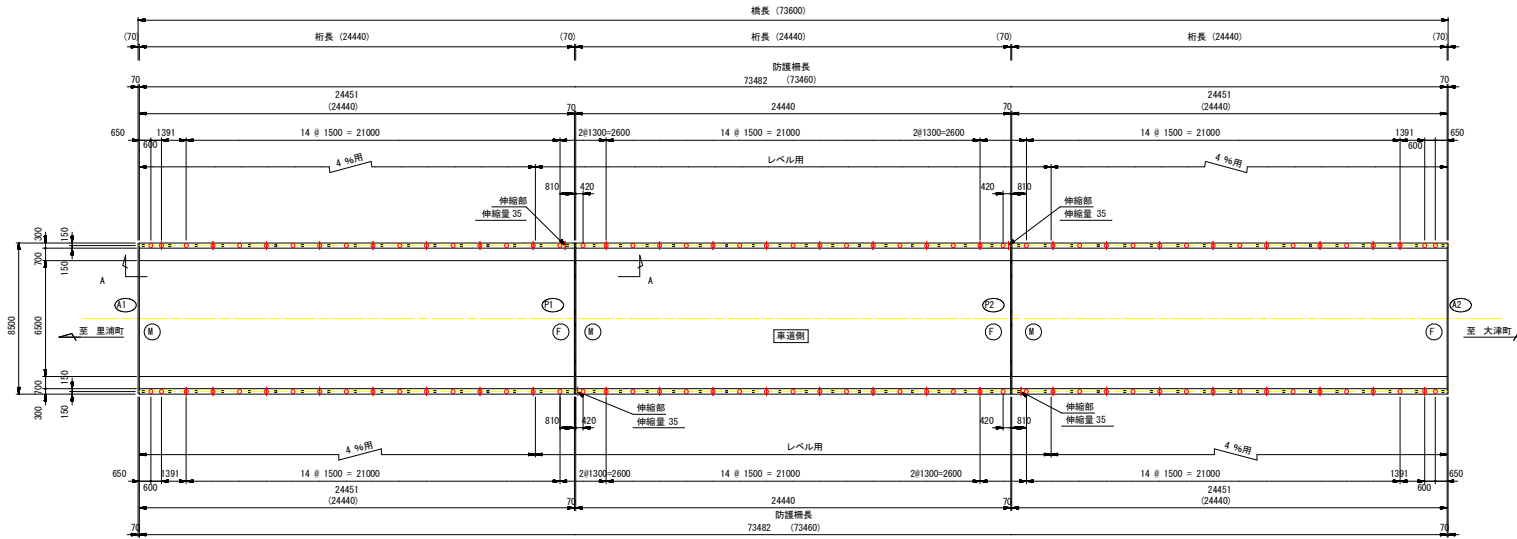
標準部撤去数量 (全98箇所)
1箇所当り数量
1-□ 125x125x3.2x1490
1-□ 100x50x2.3x1390
1-□ 100x100x2.3x750
8-□ 60x30x1.6x575

実施設計圖面

工事名	R2徳土 粟津港線 鳴・粟津粟津~大津長江 橋梁補修工事 (担い手確保型)
路線名等	粟津港線
工事箇所	鳴門市粟津町粟津~大津町長江 (大里橋)
図面名	大里橋車道橋 防護柵補修工詳細図
縮尺	図示 図面番号 7 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)

大里橋車道橋高欄参考図

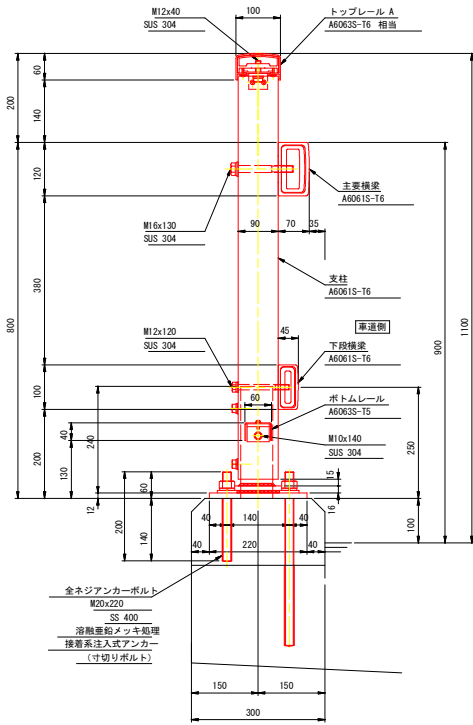
平面図 S=1:150



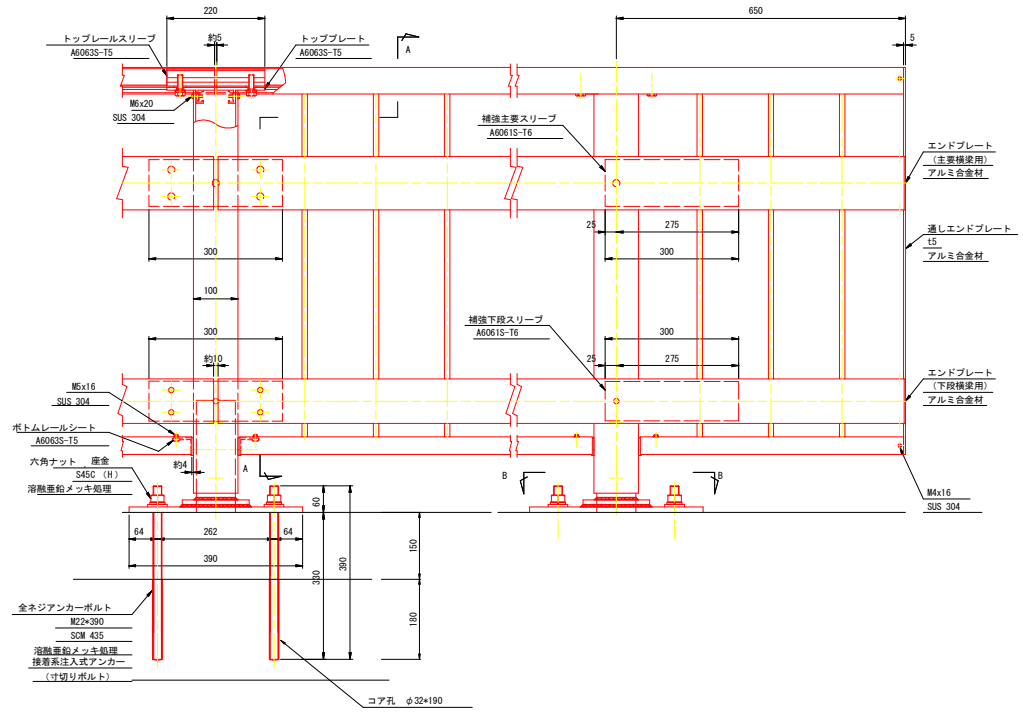
- 注記
1. 記入寸法は支柱センター押さえとし、実長で示す。
 2. () 内寸法は水平長を示す。
 3. 図中 ○、Φ印は支柱取付位置を示し、○印は橋梁継手部を示し、Φ印は橋梁継手部を示す。
 4. 欄断勾配と既設支柱ピッチは、現地確認の上製作の事。

防護欄総延長	146	M 964
レベル用	58	M 400
4%用	88	M 564

高欄兼用
車両用防護柵取付詳細図 S=1:6
種別C種

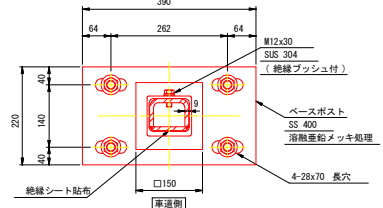
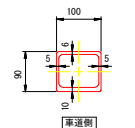


継手部 端部



断面B-B

支柱断面図



- 注記
1. 本防護欄の設計仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土庫製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護欄設計要領」(平成22年10月)による。
 2. 本防護欄の表面処理は(シルバー色)アルマイト仕上げとする。
 3. ポルト、ビス類のSUS材は塩害対策処理とする。
- コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

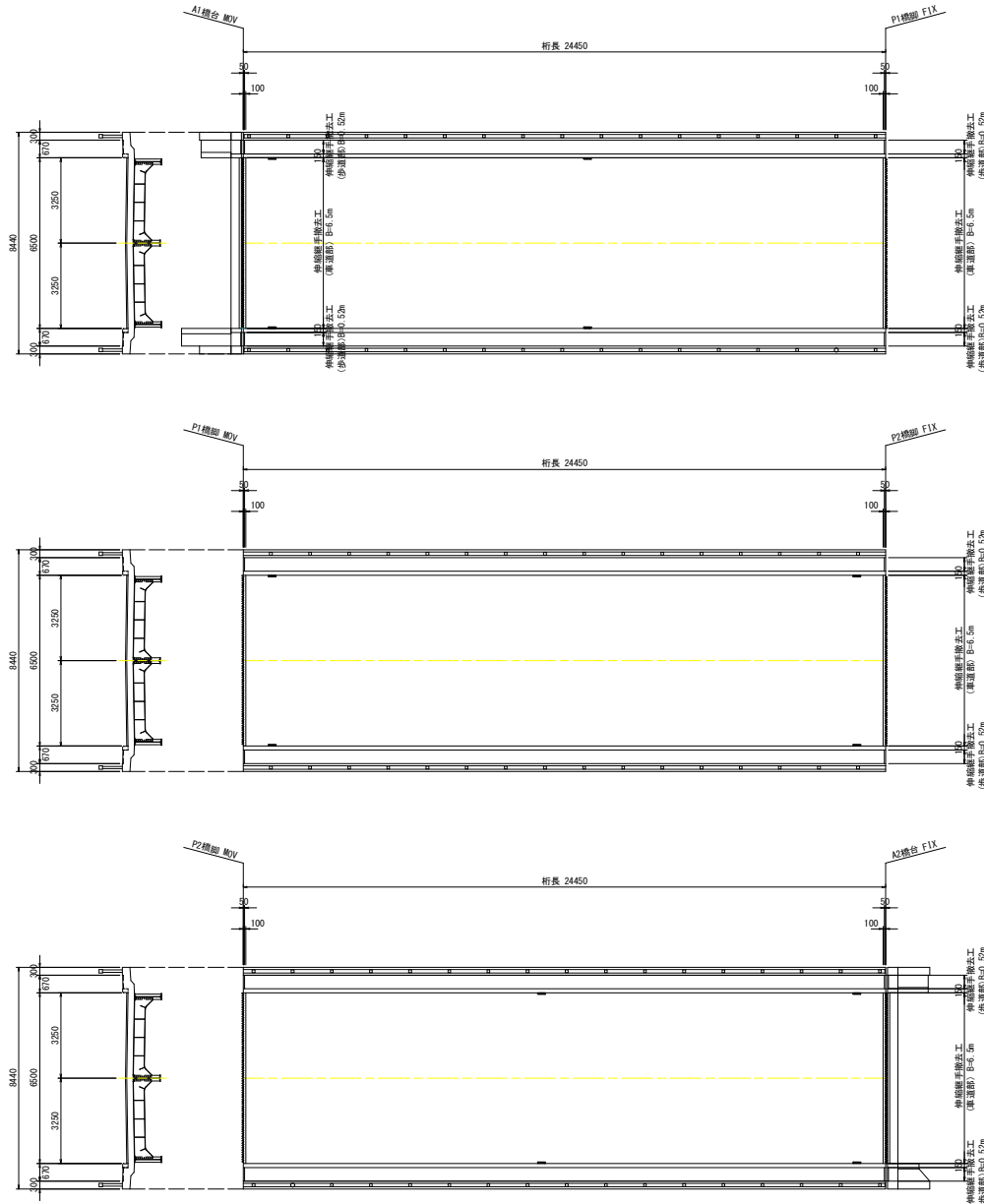
実施設計図面

工事名	R2橋土 粟津港線 鳴・粟津東津~大津長江 橋梁補修工事 (指し手橋保)
路線名等	粟津港線
工事箇所	鳴門市粟津町東津~大津町長江 (大里橋)
図面名	大里橋車道橋高欄参考図
縮尺	図示 図面番号 8 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備部 (徳島)

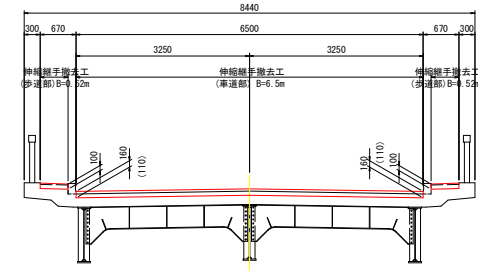
大里橋車道橋 伸縮継手補修工参考図 (1/2) S=1:100

伸縮継手撤去図

平面図

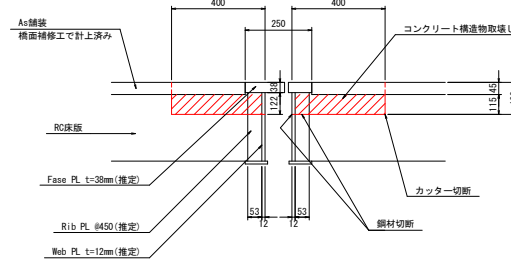


断面図 S=1:50

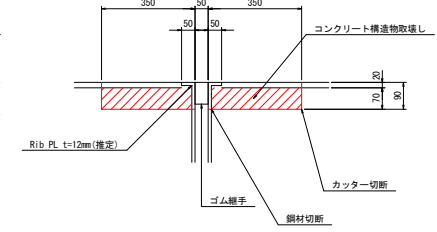


断面図 S=1:10
橋脚上

車道

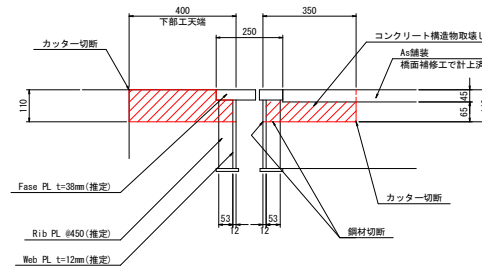


歩道上

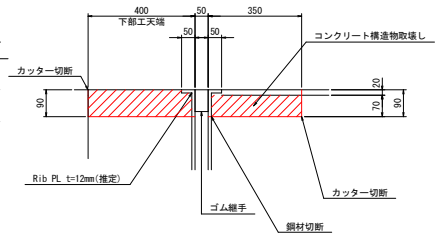


橋台上

車道



歩道上



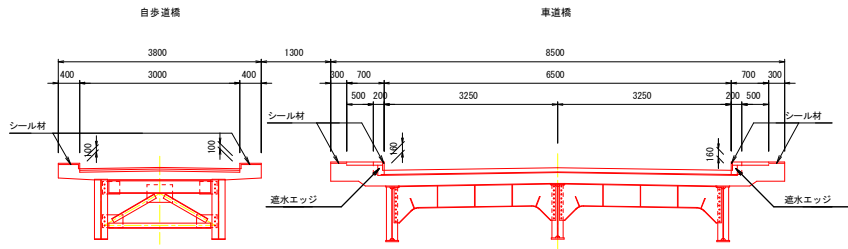
- 注記
- ・舗装厚さ等の現地調査を実施し、施工を実施すること。
 - ・急速施工等が必要な場合は、監督員と協議を実施すること。
 - ・既設鉄筋に注意して施工すること。

実施設計図面

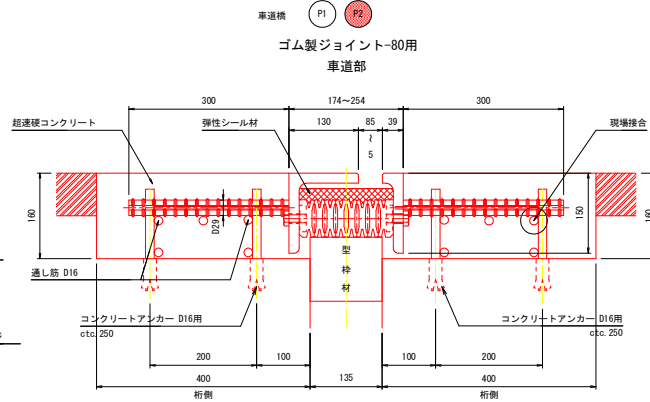
工事名	R3橋土 東津港線 鳴・豊浦東津～大津長江 橋梁補修工事 (担い手確保型)		
路線名等	東津港線		
工事箇所	鳴門市豊浦町東津～大津町長江 (大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 伸縮継手補修工参考図 (1/2)		
縮尺	図示	図面番号	9 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

伸縮継手補修工参考図 (2/2)

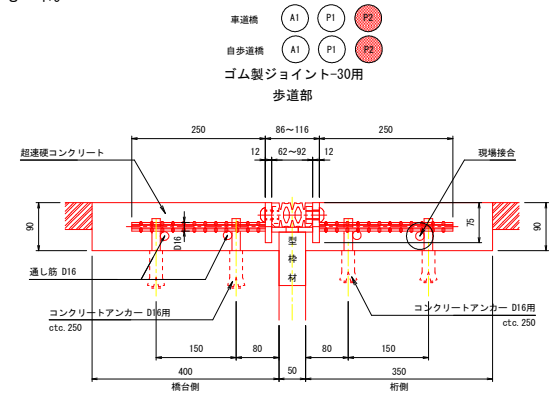
断面図 S = 1:50



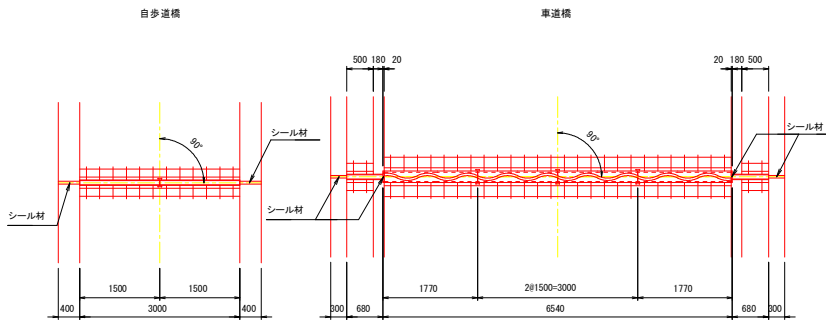
伸縮継手断面図 S = 1:5



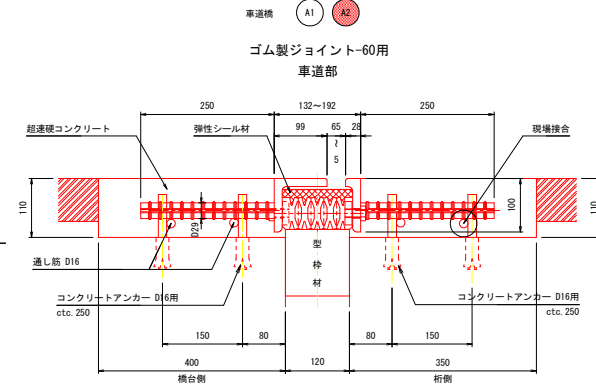
S = 1:5



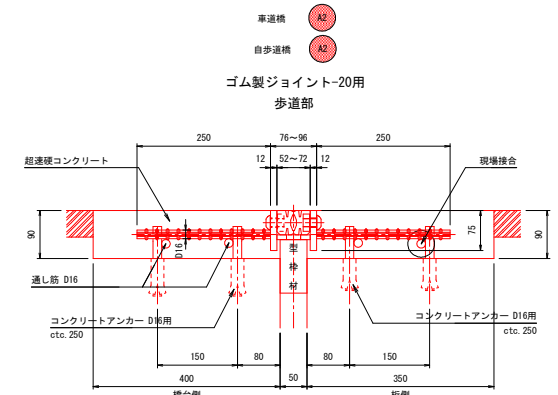
平面図 S = 1:50



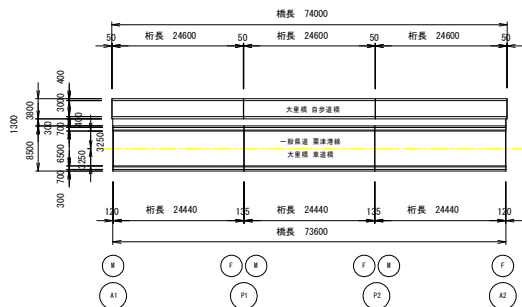
伸縮継手断面図 S = 1:10



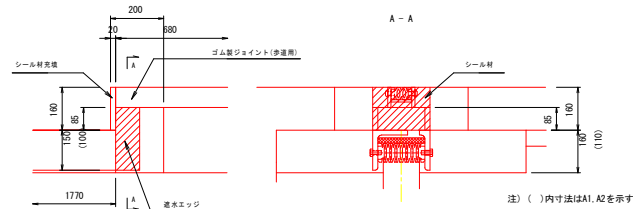
伸縮継手断面図 S = 1:5



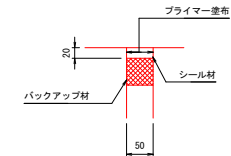
位置図



地覆部詳細図 S = 1:10



シーリング材充填図 S = 1:5



伸縮継手材料表

名称	材質	車道橋数量				歩道橋数量				合計数量	備考
		A1数量	P1数量	P2数量	A2数量	A1数量	P1数量	P2数量	A2数量		
ゴム製ジョイント-80用	S5400 高弾性ゴム SD345 弾性シーリング材	6,540 m	6,540 m	6,540 m	6,540 m					13,080 m	車道用
ゴム製ジョイント-60用	"	6,540 m			6,540 m					13,080 m	歩道用
ゴム製ジョイント-30用	S5400 高弾性ゴム SD345	1,360 m	1,360 m	1,360 m	1,360 m	3,000 m	3,000 m	3,000 m	3,000 m	13,080 m	歩道用
ゴム製ジョイント-20用	"				1,360 m				3,000 m	4,360 m	歩道用
透水エッジ		2箇所	2箇所	2箇所	2箇所					8箇所	
シーリング材	シリコン系	1.83 リッター	2.23 リッター	1.83 リッター	1.83 リッター	1.00 リッター	1.00 リッター	1.00 リッター	1.00 リッター	12.12 リッター	地覆部・縁石部
超硬コンクリート		0.599 m ³	0.895 m ³	0.895 m ³	0.599 m ³	0.189 m ³	0.189 m ³	0.189 m ³	0.189 m ³	3.744 m ³	
通し筋	SD345	30,000 m	30,000 m	30,000 m	30,000 m	12,000 m	12,000 m	12,000 m	12,000 m	168,000 m	D16
コンクリートアンカー		120本	120本	120本	120本	48本	48本	48本	48本	672本	D16用

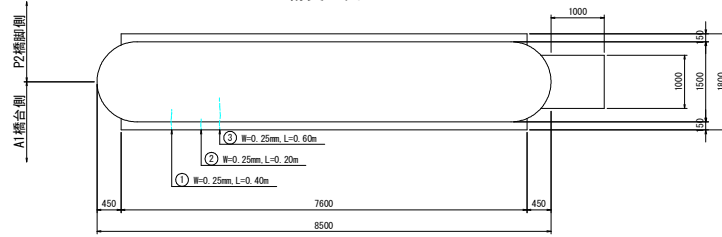
注) 伸縮継手の伸縮量および長さ等は、現地測量ならびに支保条件等確認後に決定する事。

実施設計図面

工事名	R2橋土 粟津港線 鳴・粟津東津~大津長江橋架補修工事 (指し手補修)
路線名等	粟津港線
工事箇所	鳴門市粟津町東津~大津町長江 (大里橋)
図面名	大里橋車道橋 伸縮継手補修工参考図 (2/2)
縮尺	図示 図面番号 10 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備部 (徳島)

大里橋車道橋 下部工補修図 (1/4) S=1:50

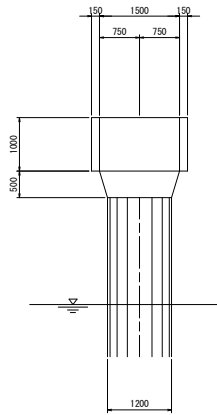
平面図
桁受上面 P1橋脚



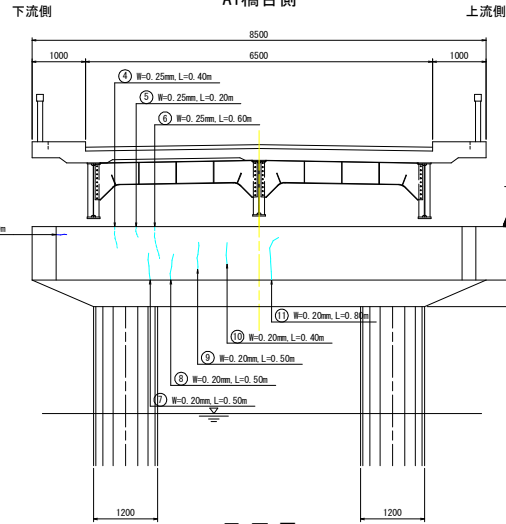
下部工補修工法一覧

補修箇所	補修工法
ひびわれ箇所 (W=0.2mm以上)	ひびわれ注入工(1種)

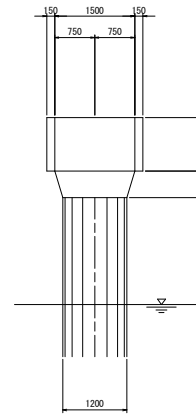
側面図
下流側



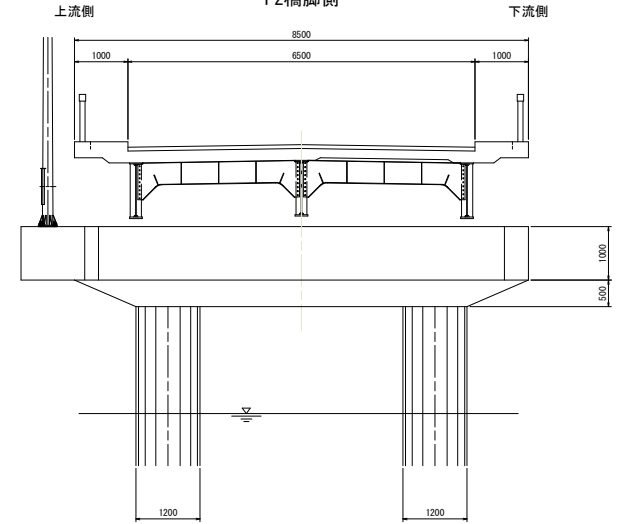
正面図
A1橋台側



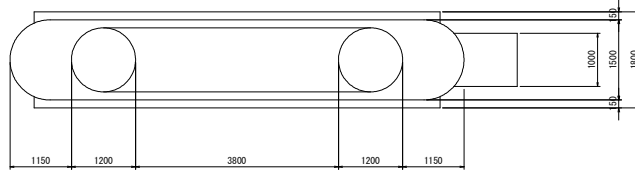
側面図
上流側



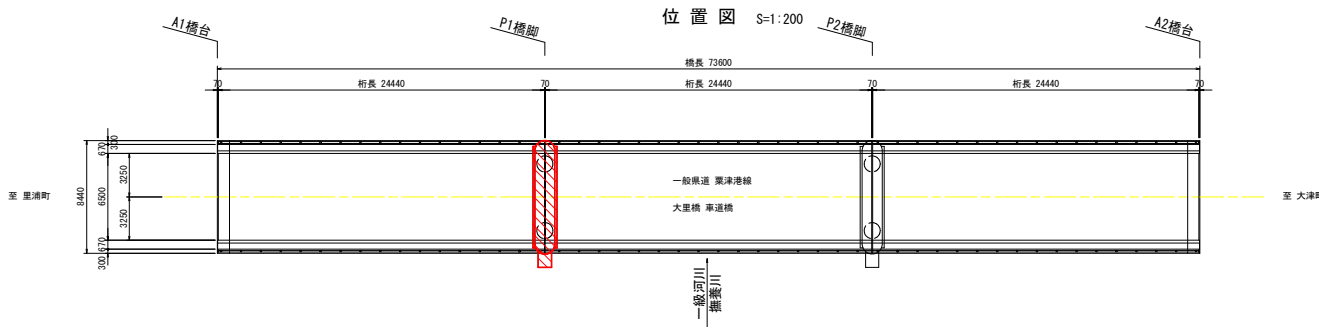
正面図
P2橋脚側



平面図
梁下面



位置図 S=1:200



注記

- 足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ひびわれ注入工法による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。
- ひびわれ深さは鉄筋位置までとし、10cmを想定している。
- 表面のひび割れ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場工を設置して、表面清掃後に隠れていたひび割れが露出する場合があることから、数量増となることが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

劣化分類

損傷の種類	表示
剝離	
鉄筋露出	
その他(うき)	

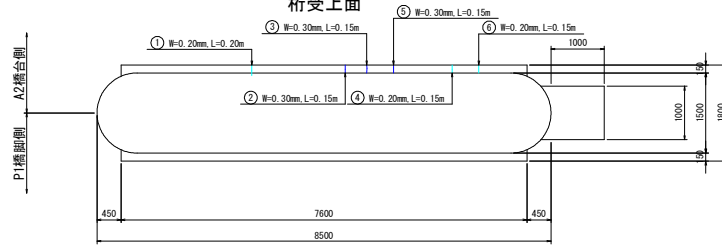
実施設計図面

工事名	R2徳土 東津港線 鳴・星浦東津~大津長江橋架補修工事(掛い手橋保堅)		
路線名等	東津港線		
工事箇所	鳴門市星浦町東津~大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 下部工補修図(1/4)		
縮尺	図示	図面番号	11 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

大里橋車道橋 下部工補修図 (2/4) S=1:50

P2 橋脚

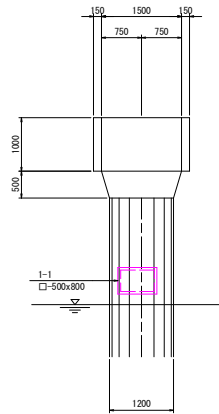
平面図
桁受上面



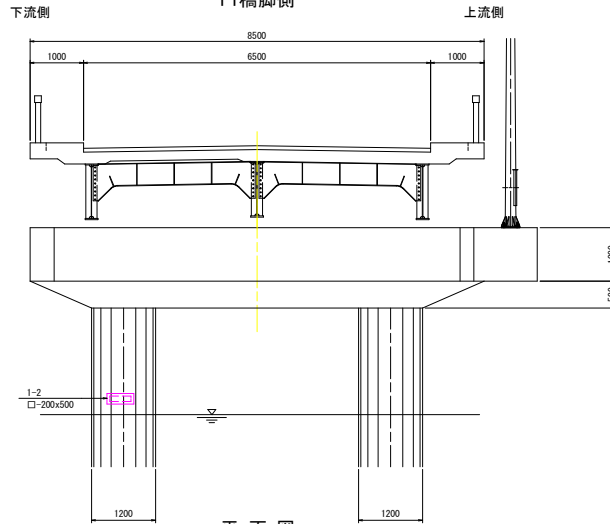
下部工補修工法一覧

補修箇所	補修工法
鉄筋露出 剝離箇所	断面修復工
ひびわれ箇所 (W=0.2mm以上)	ひびわれ注入工(1種)

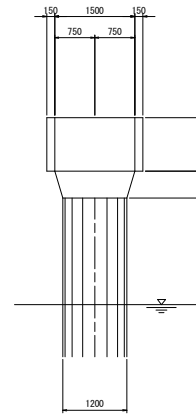
側面図
下流側



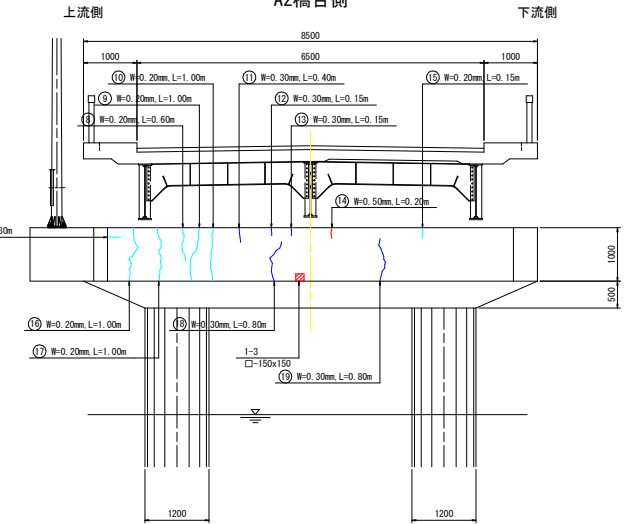
正面図
P1橋脚側



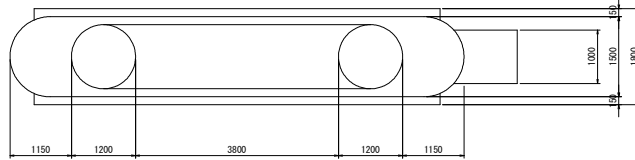
側面図
上流側



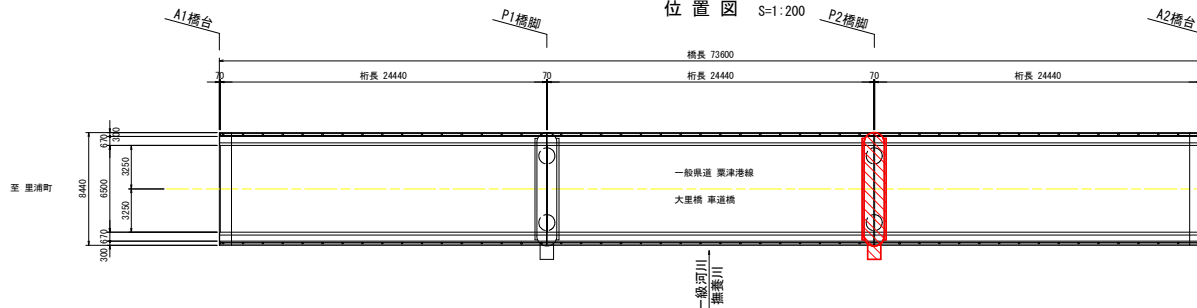
正面図
A2橋台側



平面図
梁下面



位置図 S=1:200



注記

- ・足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ・ひびわれ注入工法による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。
- ・ひびわれ深さは鉄筋位置までとし、10cmを想定している。
- ・表面のひび割れ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場工を設置して、表面清掃後に隠れていたひび割れが露出する場合があることから、数量増となることが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

劣化分類

損傷の種類	表示
剝離	
鉄筋露出	
その他(うき)	

実施設計図面

工事名	R2徳土 粟津港線 鳴・星浦東津~大津長江橋架補修工事(掛い手橋保型)
路線名等	粟津港線
工事箇所	鳴門市星浦町東津~大津町長江(大里橋)
図面名	大里橋車道橋 下部工補修図(2/4)
縮尺	図示 図面番号 12 / 22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

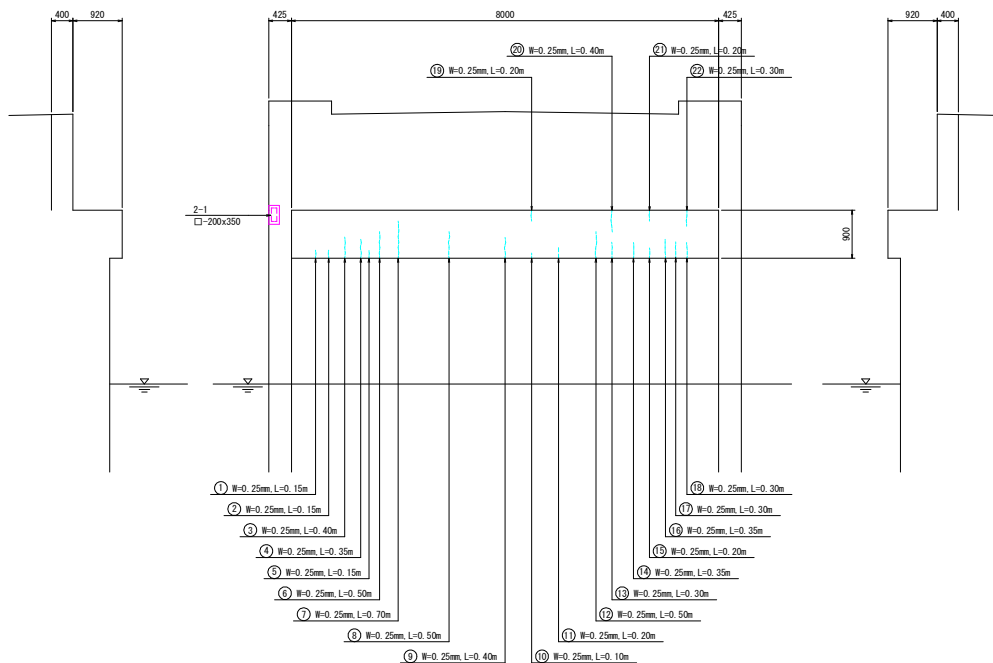
大里橋車道橋 下部工補修図 (3/4) S=1:50

A2 橋台

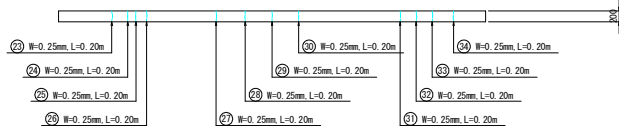
側面図
下流側

A2 橋台
正面図

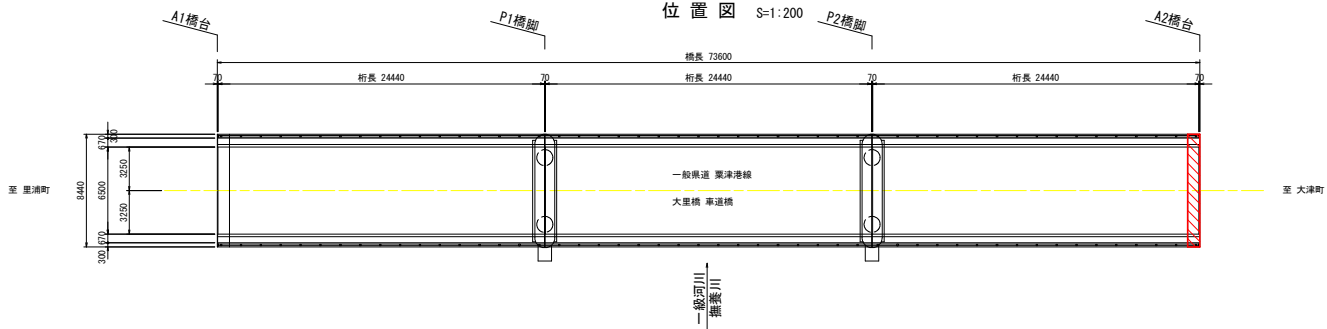
側面図
上流側



平面図
桁受下面



位置図 S=1:200



下部工補修工法一覧

補修箇所	補修工法
鉄筋露出 剥離箇所	断面修復工
ひびわれ箇所 (W=0.2mm以上)	ひびわれ注入工(1種)

劣化分類

損傷の種類	表示
剥離	
鉄筋露出	
その他(うき)	

注記

- ・足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ・ひびわれ注入工法による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。
- ・ひびわれ深さは鉄筋位置までとし、10cmを想定している。
- ・表面のひび割れ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場工を設置して、表面清掃後に隠れていたひび割れが露出する可能性があることから、数量増となることが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

実施設計図面

工事名	R2徳士 粟津港線 鳴・粟津粟津～大津長江 橋梁補修工事(担い手確保型)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市里浦町粟津～大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 下部工補修図(3/4)		
縮尺	図示	図面番号	13 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

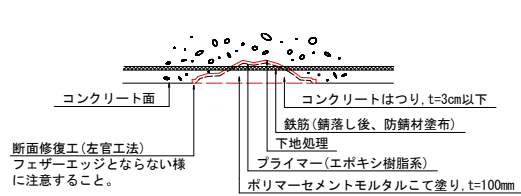
大里橋車道橋 下部工補修図 (4/4)

下部工

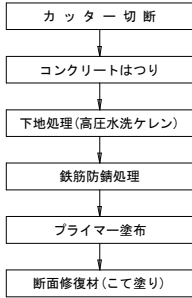
断面修復工(左官工法), t=100mm

断面欠損部(うき、剥離、鉄筋露出等)

断面図



施工フロー



注記

・劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう(フェザーエッジが生じないよう)周囲に深さ1cm程度のコンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。
(はつり深さは、下部工平均10cmを想定している。)

断面修復工(左官工法), t=100mm

損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積 (㎡)
1-1	0.50 x 0.80	0.40
1-2	0.20 x 0.50	0.10
1-3	0.15 x 0.15	0.02
小計		0.52㎡

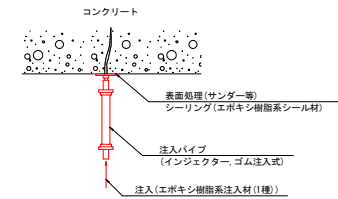
損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積 (㎡)
2-1	0.20 x 0.35	0.07
小計		0.07㎡

補修数量

補修工法	数量
断面修復工 (左官工法) t=100mm	A = 0.52 + 0.07 = 0.59㎡ V = 0.59㎡ x 0.10m = 0.06㎡

ひびわれ注入工詳細図

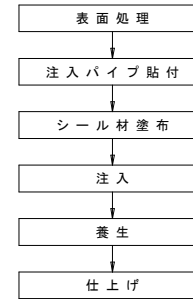
断面図



平面図



施工フロー



ひびわれ補修延長集計表

P1橋脚		P2橋脚		A1橋台		A2橋台	
損傷番号	延長・L	損傷番号	延長・L	損傷番号	延長・L	損傷番号	延長・L
⑦	0.50	①	0.40	⑫	0.20	⑭	0.20
⑧	0.50	②	0.20				
⑨	0.50	③	0.60				
⑩	0.40	④	0.40				
⑪	0.80	⑤	0.20				
		⑥	0.60				
合計	2.70m	合計	2.40m	合計	0.20m	合計	0.20m

ひびわれ補修延長集計表

P2橋脚		A2橋台	
損傷番号	延長・L	損傷番号	延長・L
①	0.20	②	0.15
④	0.15	③	0.15
⑥	0.15	⑤	0.15
⑦	0.30	⑧	0.40
⑨	0.60	⑨	0.15
⑩	1.00	⑩	0.15
⑬	1.00	⑪	0.80
⑮	0.15	⑫	0.80
⑯	1.00		
⑰	1.00		
合計	2.70m	合計	2.75m

ひびわれ補修延長集計表

損傷番号	延長・L
①	0.15
②	0.15
③	0.40
④	0.35
⑤	0.15
⑥	0.50
⑦	0.70
⑧	0.50
⑨	0.40
⑩	0.10
⑪	0.20
⑫	0.50
⑬	0.30
⑭	0.35
⑮	0.20
⑯	0.35
⑰	0.30
⑱	0.30
⑲	0.20
⑳	0.40
㉑	0.20
㉒	0.30
㉓	0.20
㉔	0.20
㉕	0.20
㉖	0.20
㉗	0.20
㉘	0.20
㉙	0.20
㉚	0.20
合計	9.40m

注記

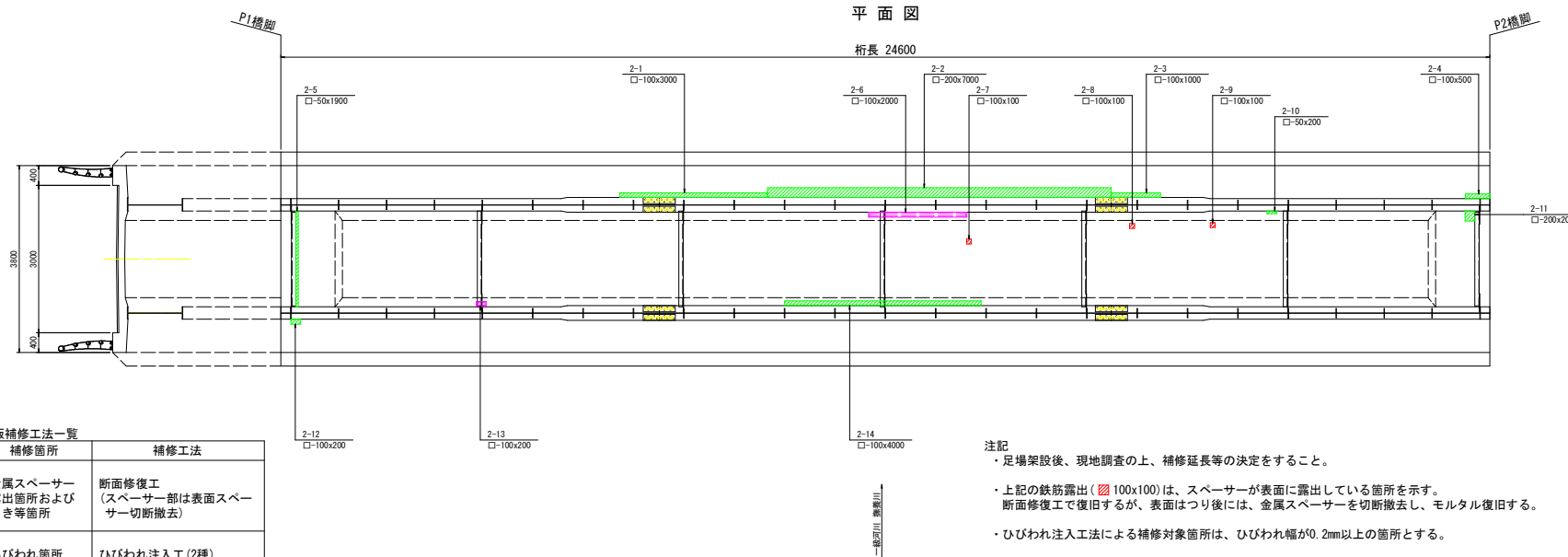
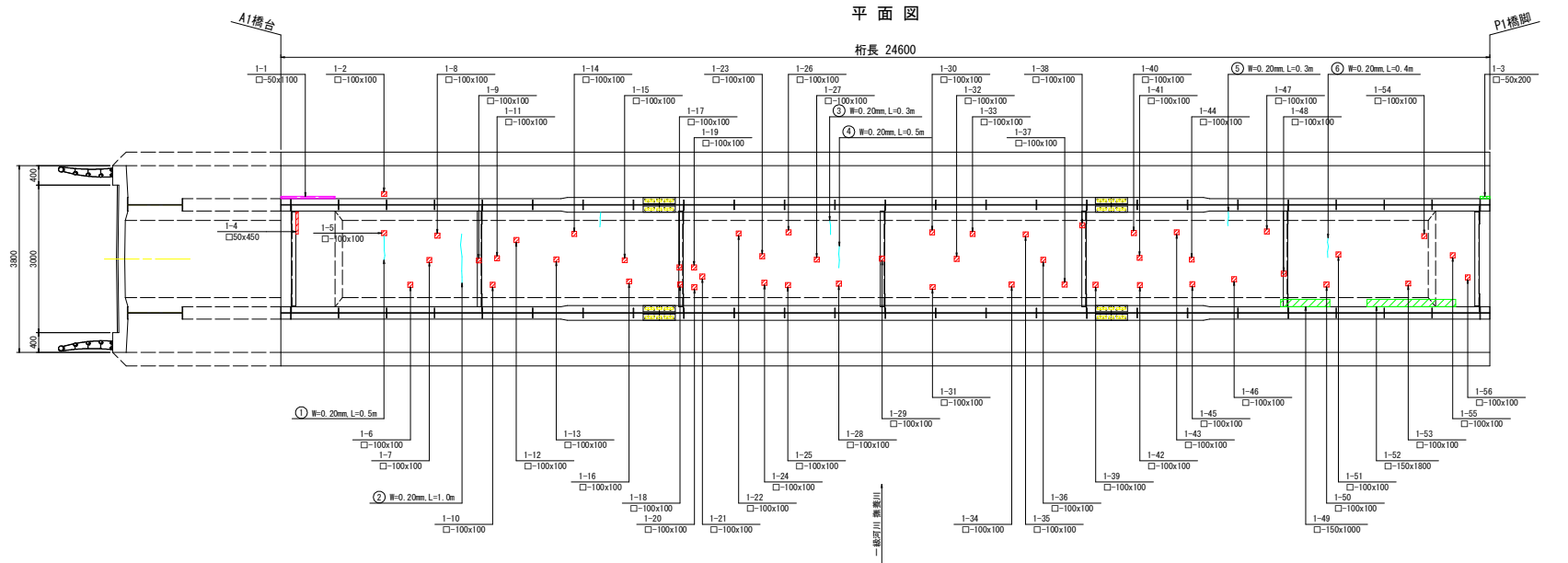
- ・注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のものとする。
- ・ひびわれ注入深さは、10cmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
- ・表面のひび割れ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場工を設置して、表面清掃後に隠れていたひび割れが露出する可能性があることから、数量増となるのが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

実施設計図面

工事名	和徳土 粟津港線 鳴・粟津東津~大津長江 橋梁補修工事(担い手確保型)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市粟津町東津~大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋車道橋 下部工補修図(4/4)		
縮尺	-	図面番号	14 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

大里橋自歩道橋床版補修工詳細図(1/2) S=1:50

床版下面および地覆側面



劣化分類	
損傷の種類	表示
剥離	紫
鉄筋露出	赤
その他(うき)	緑

床版補修工法一覧	
補修箇所	補修工法
金属スベークサ露出箇所およびうき等箇所	断面修復工 (スベークサ一部は表面スベークサ切断撤去)
ひびわれ箇所 (W=0.2mm以上)	ひびわれ注入工(2種)

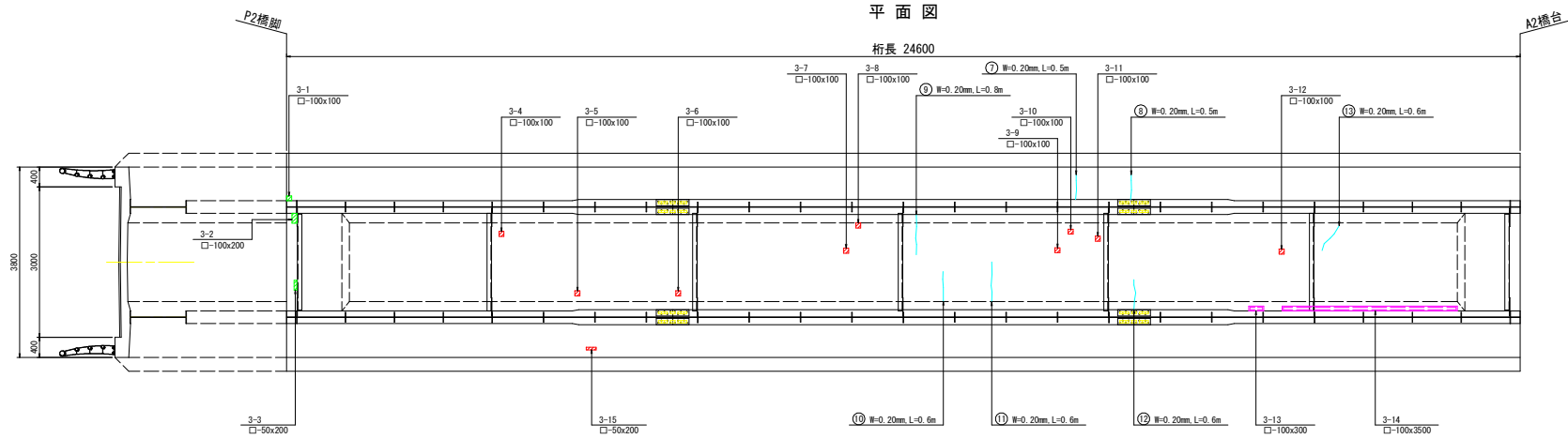
注記

- ・足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ・上記の鉄筋露出(赤)箇所は、スベークサが表面に露出している箇所を示す。断面修復工で復旧するが、表面はつり後には、金属スベークサを切断撤去し、モルタル復旧する。
- ・ひびわれ注入工による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。
- ・表面のひびわれ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場工を設置して、表面清掃後に隠れていたひびわれが露出する可能性があることから、数量増となることが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

実施設計図面	
工事名	和徳土 東津港線 鳴・屋浦東津～大津長江橋架補修工事(担い手確保型)
路線名等	東津港線
工事箇所	鳴門市屋浦町東津～大津町長江(大里橋)
図面名	大里橋自歩道橋 床版補修工詳細図(1/2)
縮尺	1:50 図面番号 15/22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

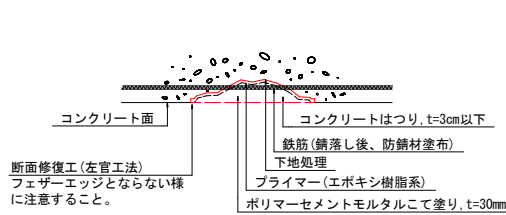
大里橋自歩道橋床版補修工詳細図(2/2) S=1:50

床版下面および地覆側面

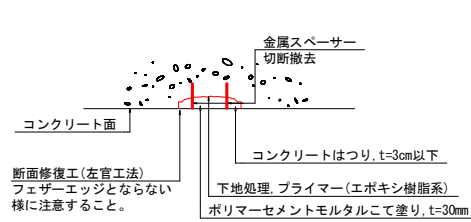


断面修復工(左官工法), t=30mm

断面欠損部(うき、剥離、鉄筋露出等)
断面図

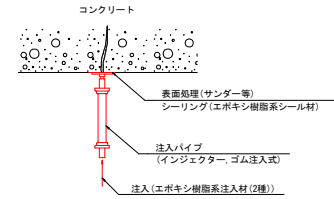


断面欠損部(スベサー露出箇所)
断面図



ひびわれ注入工詳細図

断面図



床版補修工法一覧

補修箇所	補修工法
金属スベサー露出箇所およびうき等箇所	断面修復工(表面スベサー切断撤去)
ひびわれ箇所(W=0.2mm以上)	ひびわれ注入工(2種)

断面修復工(左官工法), t=30mm

A1-P1径間					
損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積(m ²)	損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積(m ²)
1-1	0.05 x 0.10	0.01	1-29	0.10 x 0.10	0.01
1-2	0.10 x 0.10	0.01	1-30	0.10 x 0.10	0.01
1-3	0.05 x 0.20	0.01	1-31	0.10 x 0.10	0.01
1-4	0.05 x 0.45	0.02	1-32	0.10 x 0.10	0.01
1-5	0.10 x 0.10	0.01	1-33	0.10 x 0.10	0.01
1-6	0.10 x 0.10	0.01	1-34	0.10 x 0.10	0.01
1-7	0.10 x 0.10	0.01	1-35	0.10 x 0.10	0.01
1-8	0.10 x 0.10	0.01	1-36	0.10 x 0.10	0.01
1-9	0.10 x 0.10	0.01	1-37	0.10 x 0.10	0.01
1-10	0.10 x 0.10	0.01	1-38	0.10 x 0.10	0.01
1-11	0.10 x 0.10	0.01	1-39	0.10 x 0.10	0.01
1-12	0.10 x 0.10	0.01	1-40	0.10 x 0.10	0.01
1-13	0.10 x 0.10	0.01	1-41	0.10 x 0.10	0.01
1-14	0.10 x 0.10	0.01	1-42	0.10 x 0.10	0.01
1-15	0.10 x 0.10	0.01	1-43	0.10 x 0.10	0.01
1-16	0.10 x 0.10	0.01	1-44	0.10 x 0.10	0.01
1-17	0.10 x 0.10	0.01	1-45	0.10 x 0.10	0.01
1-18	0.10 x 0.10	0.01	1-46	0.10 x 0.10	0.01
1-19	0.10 x 0.10	0.01	1-47	0.10 x 0.10	0.01
1-20	0.10 x 0.10	0.01	1-48	0.10 x 0.10	0.01
1-21	0.10 x 0.10	0.01	1-49	0.15 x 1.00	0.15
1-22	0.10 x 0.10	0.01	1-50	0.10 x 0.10	0.01
1-23	0.10 x 0.10	0.01	1-51	0.10 x 0.10	0.01
1-24	0.10 x 0.10	0.01	1-52	0.15 x 1.90	0.27
1-25	0.10 x 0.10	0.01	1-53	0.10 x 0.10	0.01
1-26	0.10 x 0.10	0.01	1-54	0.10 x 0.10	0.01
1-27	0.10 x 0.10	0.01	1-55	0.10 x 0.10	0.01
1-28	0.10 x 0.10	0.01	1-56	0.10 x 0.10	0.01
小計 0.97m ²					

P1-P2径間

損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積(m ²)	損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積(m ²)
2-1	0.10 x 3.00	0.30	2-8	0.10 x 0.10	0.01
2-2	0.20 x 7.00	1.40	2-9	0.10 x 0.10	0.01
2-3	0.10 x 1.00	0.10	2-10	0.05 x 0.20	0.01
2-4	0.10 x 0.50	0.05	2-11	0.20 x 0.20	0.04
2-5	0.05 x 1.90	0.10	2-12	0.10 x 0.20	0.02
2-6	0.10 x 2.00	0.20	2-13	0.10 x 0.20	0.02
2-7	0.10 x 0.10	0.01	2-14	0.10 x 4.00	0.40
小計 2.67m ²					

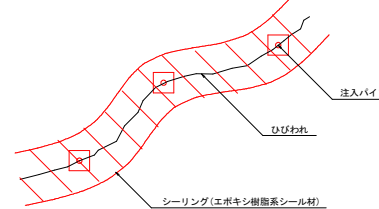
P2-A2径間

損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積(m ²)	損傷番号	幅 x 延長 (m)	面積(m ²)
3-1	0.10 x 0.10	0.01	3-8	0.10 x 0.10	0.01
3-2	0.10 x 0.20	0.02	3-9	0.10 x 0.10	0.01
3-3	0.05 x 0.20	0.01	3-10	0.10 x 0.10	0.01
3-4	0.10 x 0.10	0.01	3-11	0.10 x 0.10	0.01
3-5	0.10 x 0.10	0.01	3-12	0.10 x 0.10	0.01
3-6	0.10 x 0.10	0.01	3-13	0.10 x 0.30	0.03
3-7	0.10 x 0.10	0.01	3-14	0.10 x 3.50	0.35
小計 0.51m ²					

補修数量

補修工法	数量
断面修復工(左官工法) t=30mm	A = 0.97 + 2.67 + 0.51 = 4.15m ² V = 4.15m ² × 0.03m = 0.13m ³

平面図



ひびわれ補修延長集計表

補修番号	延長 (L)	補修番号	延長 (L)
W=0.2mm			
①	0.5	⑧	0.5
②	1.0	⑨	0.8
③	0.3	⑩	0.6
④	0.5	⑪	0.6
⑤	0.3	⑫	0.6
⑥	0.4	⑬	0.6
⑦	0.5		
合計		7.2m	

注記

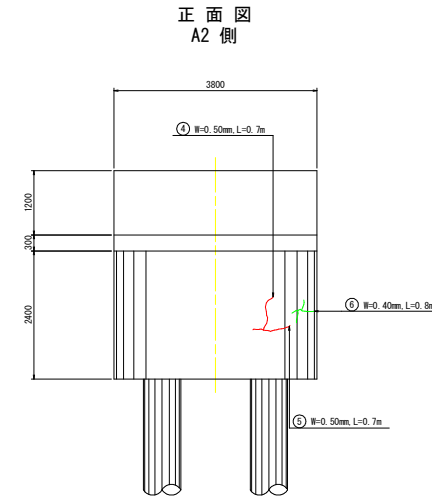
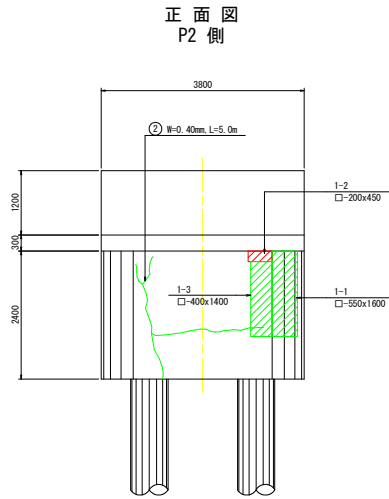
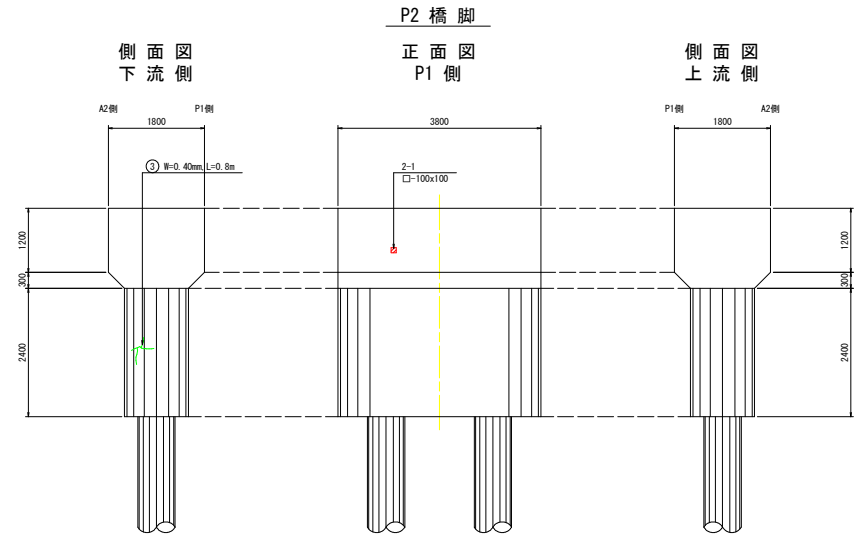
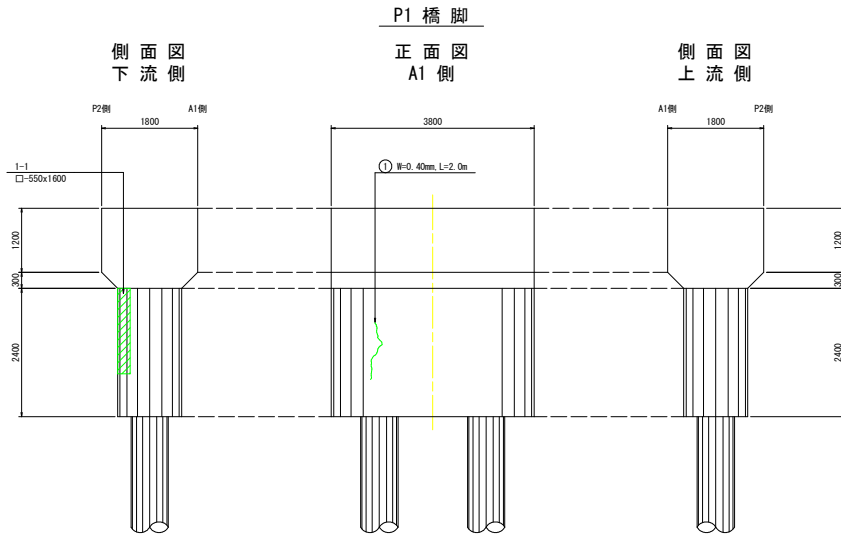
- ・足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
- ・上記の鉄筋露出(100x100)は、スベサーが表面に露出している箇所を示す。断面修復工で復旧するが、表面はつり後は、金属スベサーを切断撤去し、モルタル復旧する。
- ・ひびわれ注入工による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。
- ・表面のひび割れ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場工を設置して、表面清掃後に隠れていたひび割れが露出する場合があることから、数量増となることが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

実施設計図面

工事名	和徳土 東津港線 鳴・鹿浦東津~大津長江橋架補修工事(担い手確保型)
路線名等	東津港線
工事箇所	鳴門市里浦町東津~大津町長江(大里橋)
図面名	大里橋自歩道橋 床版補修工詳細図(2/2)
縮尺	1:50 図面番号 16/22
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

大里橋自歩道橋 下部工補修図 (1/2) S=1:50

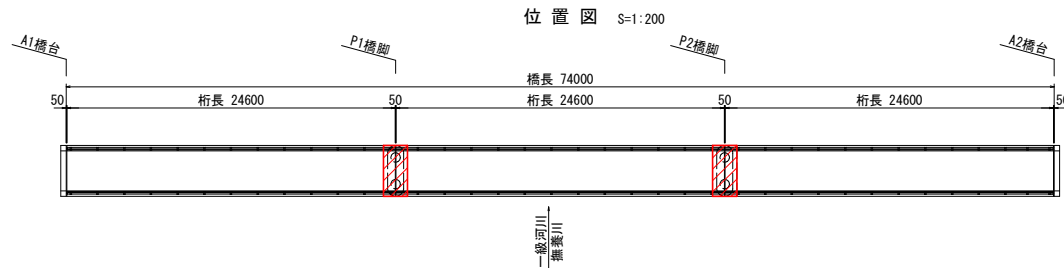
橋脚工



- 注記
- 足場架設後、現地調査の上、補修延長等の決定をすること。
 - ひびわれ注入工法による補修対象箇所は、ひびわれ幅が0.2mm以上の箇所とする。
 - ひびわれ深さは鉄筋位置までとし、10cmを想定している。
 - 表面のひびわれ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場工を設置して、表面清掃後に隠れていたひびわれが露出する可能性があることから、数量増となるのが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

劣化分類

損傷の種類	表示
剥離	
鉄筋露出	
その他(うき)	



床版補修工法一覧

補修箇所	補修工法
露出箇所およびうき等箇所	断面修復工
ひびわれ箇所 (W=0.2mm以上)	ひびわれ注入工(1種)

実施設計図面

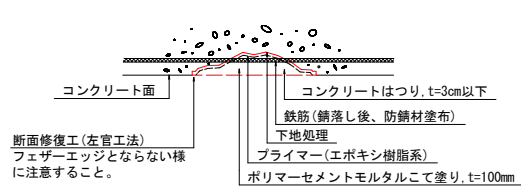
工事名	和徳土 東津港線 鳴・星浦東津～大津長江橋架補修工事(担い手確保型)		
路線名等	東津港線		
工事箇所	鳴門市星浦町東津～大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋自歩道橋 下部工補修図(1/2)		
縮尺	図示	図面番号	17 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

大里橋自歩道橋 下部工補修図 (2/2)

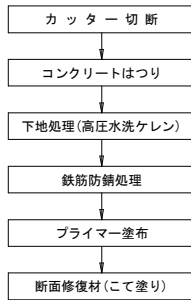
橋脚工

断面修復工(左官工法), t=100mm

断面欠損部(うき、剝離、鉄筋露出等)
断面図



施工フロー



注記

・劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷を与えないよう(フェザーエッジが生じないよう)周囲に深さ1cm程度のコンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。
(はつり深さは、下部工平均10cmを想定している。)

断面修復工(左官工法), t=100mm

箇所番号	幅 x 延長 (m)	面積 (㎡)
1-1	0.55 x 1.60	0.88
1-2	0.20 x 0.45	0.09
1-3	0.40 x 1.40	0.56
小計		1.53㎡

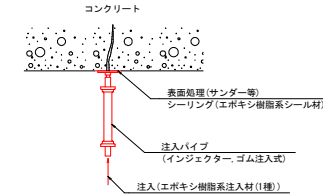
箇所番号	幅 x 延長 (m)	面積 (㎡)
2-1	0.10 x 0.10	0.01
小計		0.01㎡

補修数量

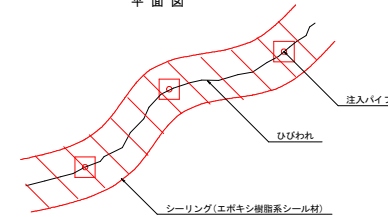
補修工法	数量
断面修復工 (左官工法) t=100mm	A = 1.53 + 0.01 = 1.54㎡ V = 1.54㎡ x 0.10m = 0.15m³

ひびわれ注入工詳細図

断面図



平面図



施工フロー



注記

- ・注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のものとする。
- ・ひびわれ注入深さは、10cmを想定しているが、ひびわれの最深部まで確実に注入すること。
- ・表面のひび割れ調査結果(点検車での調査のため制限あり)から数量を算出しているため、固定足場を設置して、表面清掃後に隠れていたひび割れが露出する場合は、数量増となるのが一般的である。そこで、数量の増分については、監督員と協議すること。

ひびわれ補修延長集計表

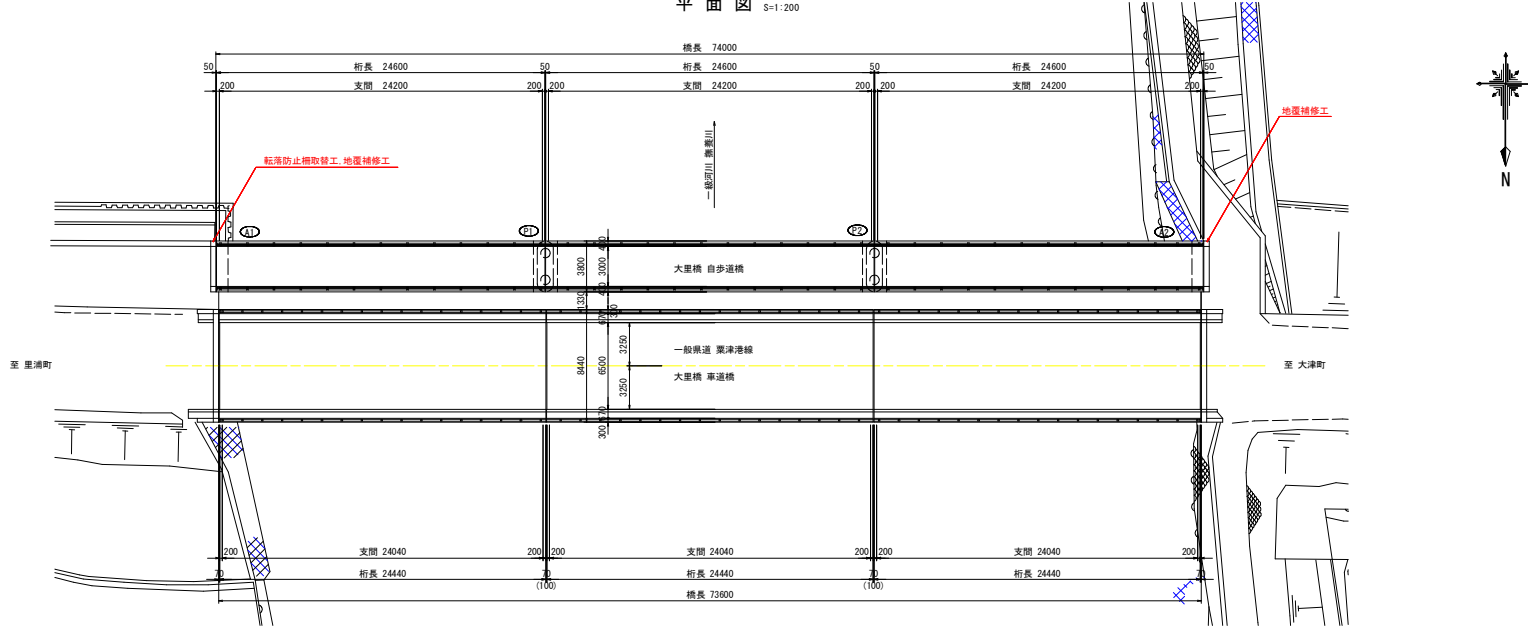
損傷番号	延長・L	損傷番号	延長・L
W=0.40mm		W=0.50mm	
①	2.0	④	0.7
②	5.0	⑤	0.7
③	0.8		
⑥	0.8		
合計	8.6m	合計	1.4m

実施設計図面

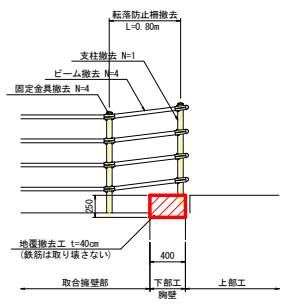
工事名	和徳土 東津港線 鳴・屋浦東津～大津長江 橋梁補修工事(担い手確保型)		
路線名等	東津港線		
工事箇所	鳴門市屋浦町東津～大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋自歩道橋 下部工補修図(2/2)		
縮尺	-	図面番号	18 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

大里橋 取合部補修工詳細図

平面図 S=1:200



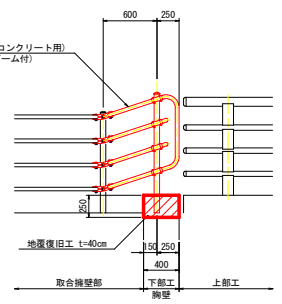
転落防止柵・地覆補修工 S=1:30
自歩道橋A1橋台



防護柵・地覆撤去工

名称	規格	単位	数量
転落防止柵撤去	転落防止柵、h=1.1m	m	0.80
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	0.04

転落防止柵（コンクリート用）
h=1.10m(補ビーム付)

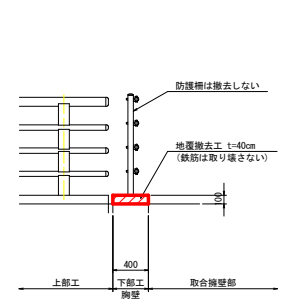


防護柵・地覆復旧工

名称	規格	単位	数量
転落防止柵	転落防止柵、h=1.1m(補ビーム付)	m	0.85
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	0.04
型枠	鉄筋構造物	m ²	0.32

転落防止柵は、高さ等の規格や取付箇所条件を満足する製品を使用すること。

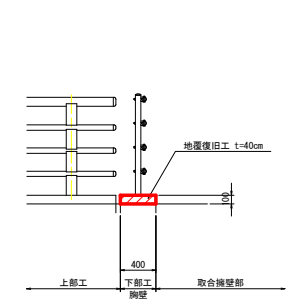
地覆補修工 S=1:30
自歩道橋A2橋台



地覆撤去工

名称	規格	単位	数量
コンクリート構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	0.02

地覆復旧工 S=1:30
自歩道橋A2橋台



地覆復旧工

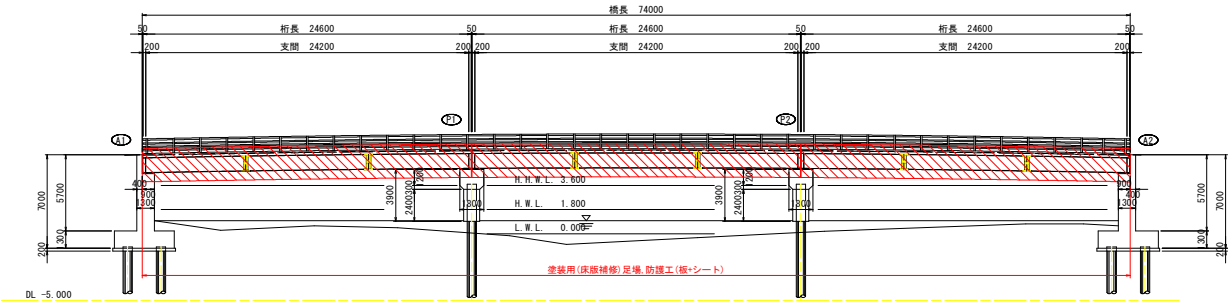
名称	規格	単位	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$	m ³	0.02
型枠	鉄筋構造物	m ²	0.16

実施設計図面

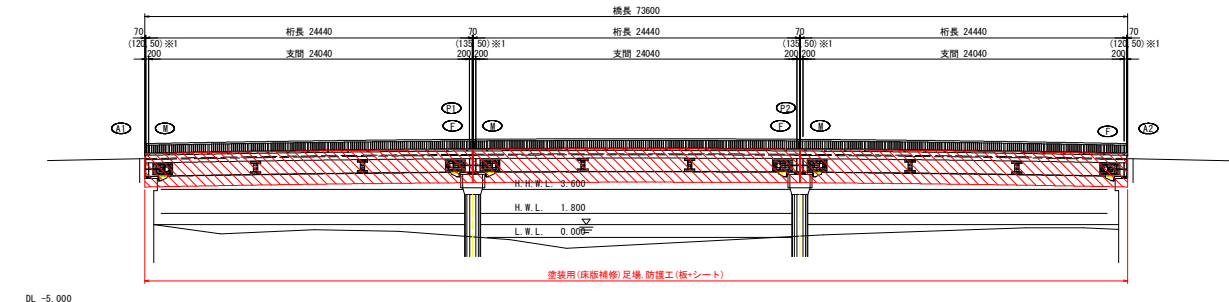
工事名	R2徳土 東津港線 鳴・里浦東津～大津長江橋架補修工事(掛い手橋保型)		
路線名等	東津港線		
工事箇所	鳴門市里浦町東津～大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋 取合部補修工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	19 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

大里橋 仮設工 参考図 (1/2) S=1:200

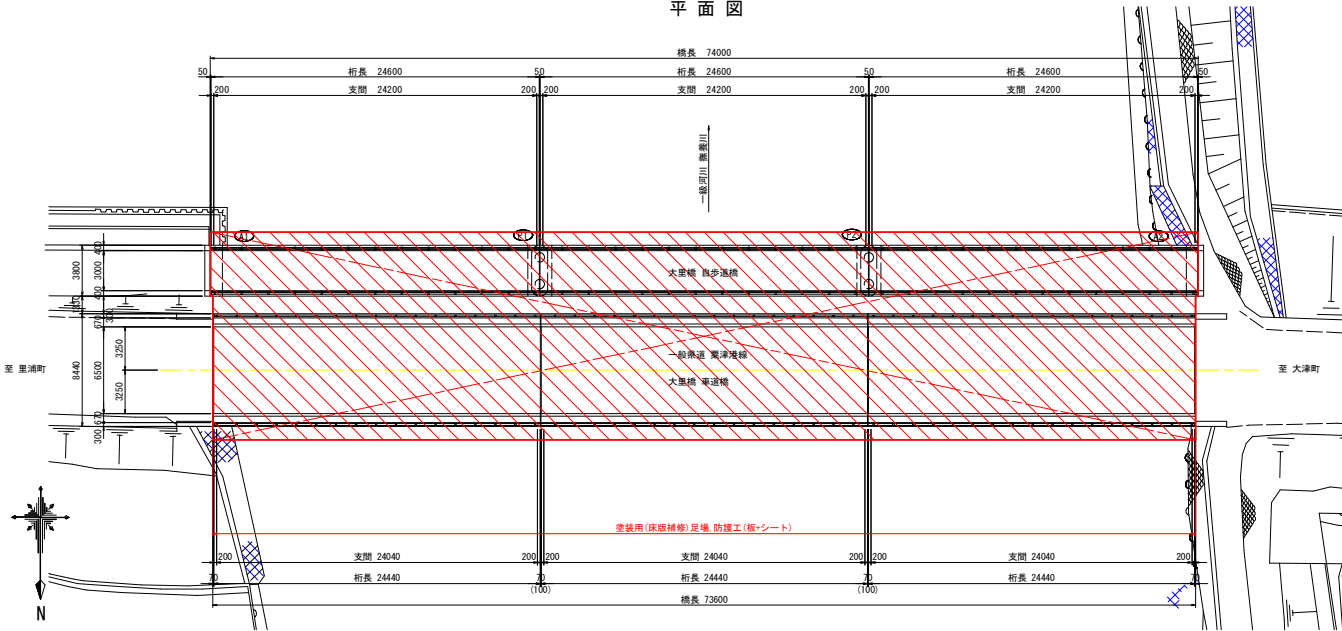
自歩道橋側面図



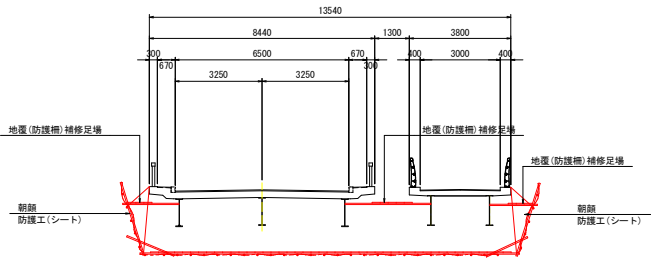
車道橋側面図



平面図



断面図 S=1:100



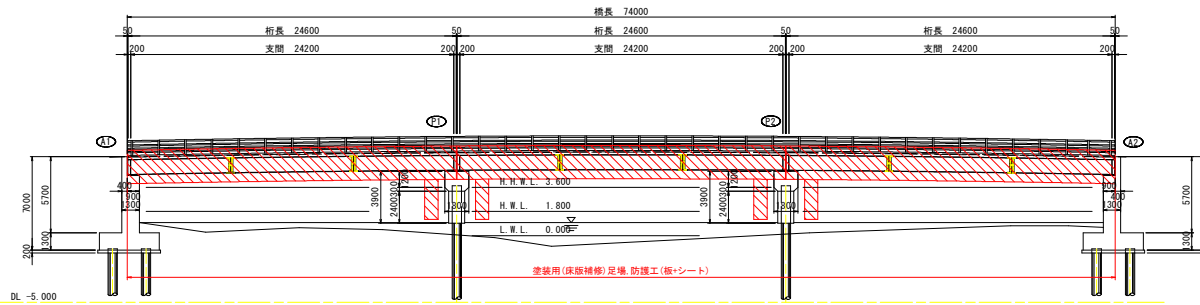
注記
 ・本図面は参考図であるため、最適案を検討すること。
 ・中央径間部は航路となっているため、工事着手前には足場高さ等について確認すること。

実施設計図面

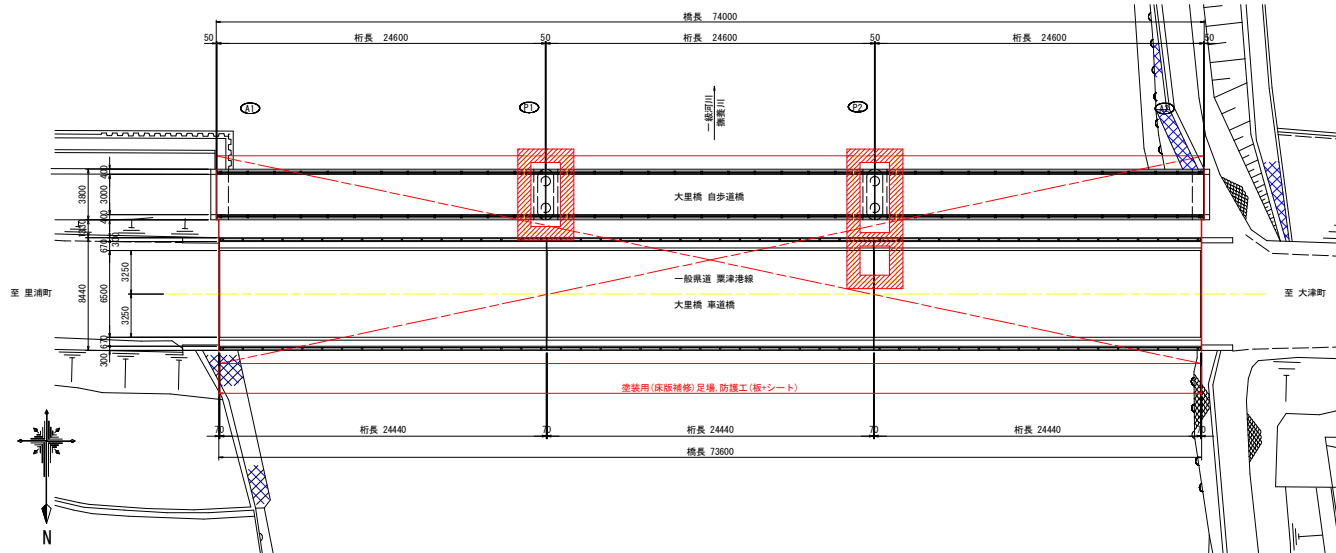
工事名	和徳土 粟津港線 鳴・粟津東津～大津長江 橋梁補修工事 (掛い手橋保型)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市粟津町東津～大津町長江 (大里橋)		
図面名	大里橋 仮設工参考図 (1/2)		
縮尺	図示	図面番号	20 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		

大里橋 仮設工 参考図 (2/2) S=1:200

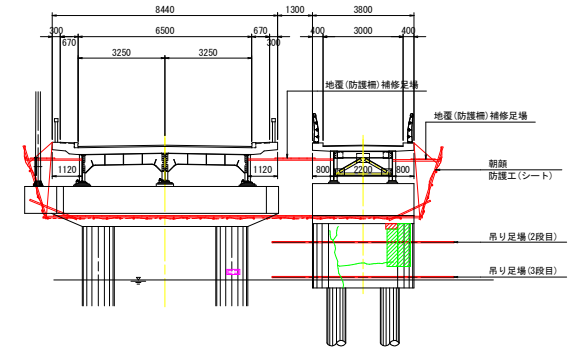
自歩道橋側面図



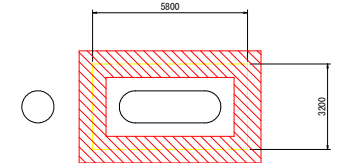
平面図



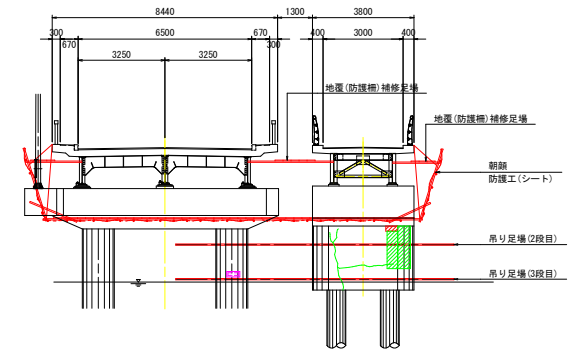
断面図 S=1:100 P1橋脚



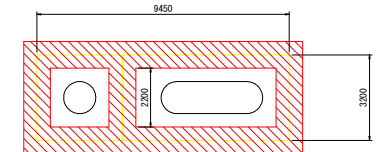
柱部平面図 吊り足場 2,3段目



P2橋脚



柱部平面図 吊り足場 2,3段目



実施設計図面

工事名	R2橋土 粟津港線 鳴・里浦粟津~大津長江 橋梁補修工事(掛い手橋保型)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市里浦町粟津~大津町長江(大里橋)		
図面名	大里橋 仮設工参考図(2/2)		
縮尺	図示	図面番号	21 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

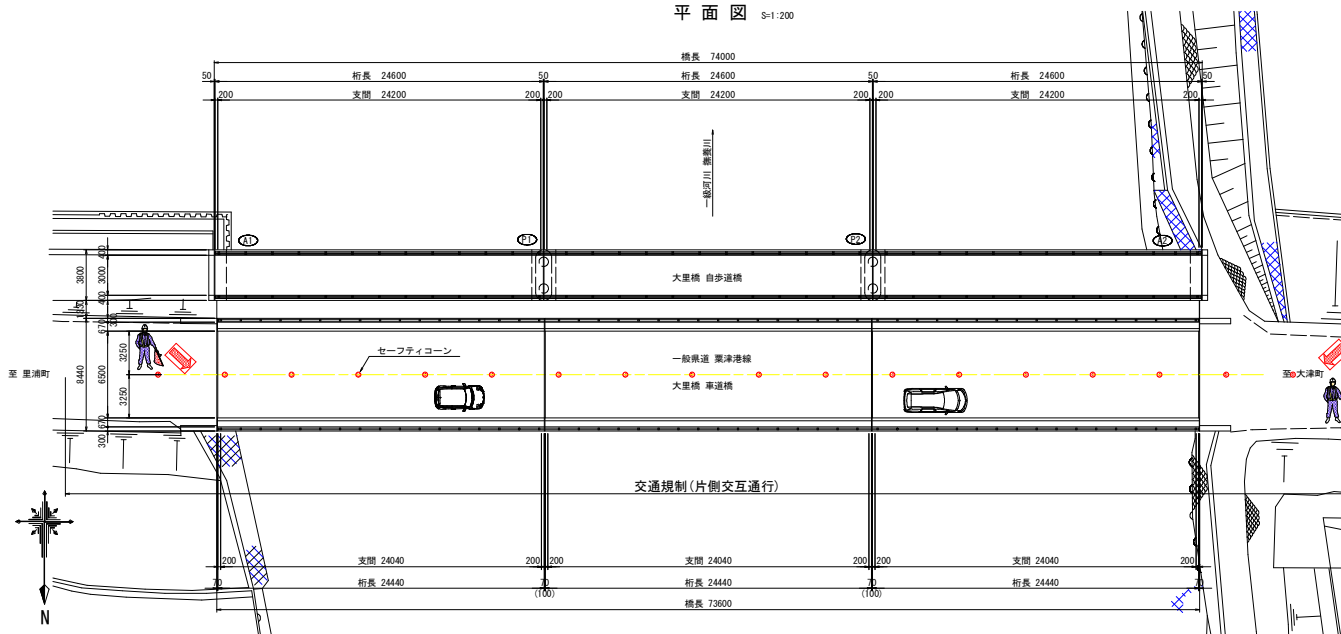
注記

- ・本図面は参考図であるため、最適案を検討すること。
- ・本橋梁は、潮位の影響を受けるため下部工の吊り足場は、作業終了毎にはH.W.L(潮位の影響を受けない高さ)以上まで引き上げること。
- ・中央径間部は航路となっているため、工事着手前には足場高さ等について確認すること。

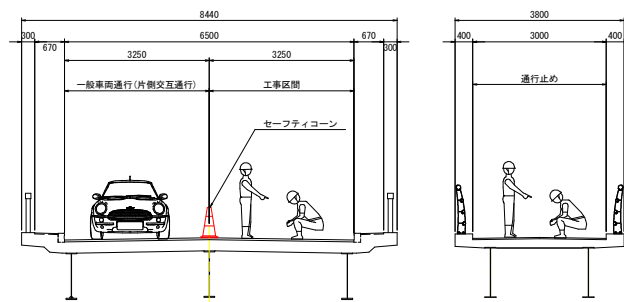
大里橋 路面施工 参考図

舗装補修施工時

平面図 S=1:200

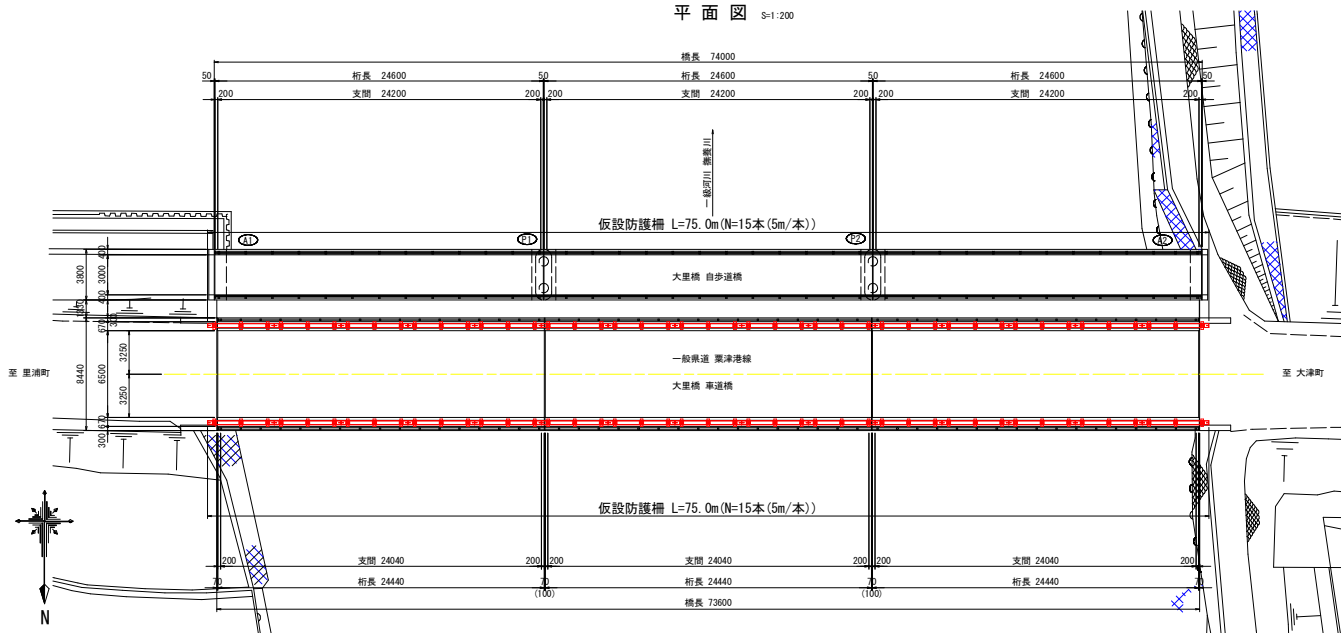


断面図 S=1:60

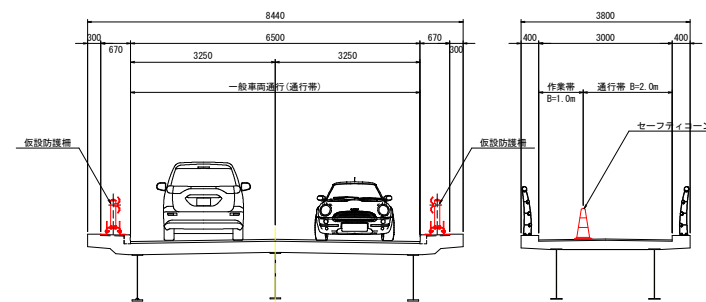


車道橋：防護柵一時撤去時
自歩道橋：防護柵塗替塗装時

平面図 S=1:200



断面図 S=1:60



注記
・車道橋と自歩道橋の同時通行規制は、実施しないこと。

実施設計図面

工事名	R3徳士 粟津港線 鳴・粟津栗津～大津長江 橋梁補修工事 (掛い手橋保)		
路線名等	粟津港線		
工事箇所	鳴門市粟津町栗津～大津町長江 (大里橋)		
図面名	大里橋 路面施工参考図		
縮尺	図示	図面番号	22 / 22
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局 (徳島)		